

遥かなる

泥土

義人

H30年10月

国際ギデオン協会

新約聖書

ヨハネの第一の手紙

第 3 章

わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである。世がわたしたちを知らないのは、父を知らなかったからである。

2 愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。その御姿（みすがた）を見るからである

3 彼についてこの望みをいただいている者は皆、彼がきよくあらわれるように、自らをきよくする。

4 すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。

5 あなたがたが知っているとおりに、彼は罪をとり除くために現れたのであって、彼にはなんら罪がない。

6 すべて彼における者は、罪を犯さない。すべて罪を犯す者は彼を見たこともなく、知ったこともない者である。

7 子たちよ。だれにも惑わされてはならない。彼が義人であると同様に、義を行う者は義人である。

まえがき

「面白くないぞ」。何も頭に残らない。同じようにひとも言う。しばらく経ってから読む。「面白い、俺の本はもしかしたら世界一、特異なのでは」。文章力は、特段優れてはいないが、こんな赤裸々に宗教という善意を描いたものがあつたろうか。そして悪意、いや戦争はいつも正義を信じ、善意から始まるのだ。ホロコーストのように憎しみという善意。或る精神障害の男。女の生き霊が頭の中に住みつき、牽制をかけ意思を束縛し、指示を与え苦しめる。そんなとき、私の本を読むと心が落ち着くと言う。少し難解に感じるが、女が読み、信じよと促す。女は善か悪か。霊的に私の本は働きかけているみたいだ。

天皇の正統性。万世一系、男系とは言うが兄弟同士、親子同士が争った史実が歴然としてある。そして現在、不敬とも言われずに、「天皇にふさわしくない」と皇太子殿下を批判する女も出現した。言論の自由のいいところ取りである。人品が人徳を生む、平和護持の帝王学を携えた皇太子殿下に対し、偏った見方は避けてほしい。女は天皇に神道の主であると自覚を促す。国家神道、戦前への回帰。かつて見た、天皇という現人神。戦後、元帥という野蛮な位置から、平和を祈る象徴として親愛の権威を取り戻した昭和天皇。

皇室の歴史から今上陛下に対しローマ法王、エリザベス女王は、上座を譲ると言う。今上陛下はパラオ、サイパン、フィリピン、深々と妃殿下とともに頭を下げられた。天皇とホームレス、どちらの命に価値があり尊いか。それは心の中に分け入らなければ解からない。隣国を愚か、横暴と決めつけ、中傷、非難しそれを盾に自らの売名のため傲慢を振り回す偏狭な人間たちがいる。まずは最低なことは確かである。

私は闘う。自由、平和、愛のため、神は絶対である。食らい、糞をし、愛し合う。思いやりを積み上げていきたい。天皇とは違う、聖書の神の権威とは。世の価値観では測れなく、格式を重んじるのでは勿論ない。階層から抜けだした大きな愛。これが神の想い、願いであり礎である。そして階級、地位から離れた愛が各位に存在するか、それが皆の霊格を振り分けることになる。

天が意志を示し、聖霊がことを運ぶ。私は志を求め、寄付金と称し、振り込み口座番号をあらわにしていた。が、すべて撤去した。金がくつついては、やはり不浄みたいだ。金は求めなくても自然に必要な分だけは回ってくる。そういうことみたいです。とりあえず読んでみて下さい。前回より間が空きましたが、私の諸作品に御目を通していただけるお時間をお少し皆様方にご用意できたのではないかと思います。実は私は二枚舌、三枚舌、五枚舌である。でも嘘はつかない。変な原理だがそうなのである。

この書き物は私の脆弱さと情けなさをたださらけ出したものなのかも知れない。雨に打たれた小雀と、獐猛な野獣が、神の心の内に共存しているのだ。

第1章

R会の新川哲子さんへ

真夜中すいません。信心の純粹さと仏の意味と尊さを最も把握されている身体に軽い障害のある御子息圭一さんの我が家への御来訪を期待します。雪解けの頃よろしく。これから私は「圭一さん」と年下の彼を呼ばさせていただきます。嫁、家宅、この世の価値観です。智慧と慈悲溢れる彼に、仏の道をご教授願いたい。これこそ真の仏門の夢です。曲がりなりにも法華經へ就学させたのはイミズさんだ。しかしそれを恩着せがましく語る間は、私は彼女のためにもあえて傲慢になる。待機説法。私は覚ったのです。法華經の教え、本当の理解者は圭一さん以外、R会にはいません。暇を惜しみ、眠気を断つ至福な仏様との信行の時間。念じ続けられるのは醜い我欲なき、われら二人だけです。圭一さんは素晴らしい存在です。世間の欲にどっぷりつかった輩には解からない。仏様は目隠しされている。心の美しいものだけが彼の価値を見出す。障害者の母親としての、そのお気持ちご同情申し上げます。けど卑下などしないで、彼に無情な世間を納得させないで下さい。彼こそが純粹な聖人なのです。どんなに侮辱されてもくじけなかった。凄いことだ。私が入会したての頃、本部への団体参拝。圭一さん、私を、障害者として侮辱する者がいた。私は下がったつもりで圭一さんと一緒にいた。同じ立場の意識を持っていなかった。最低の偽善者であった。今、本当に敬意を抱き、彼にお会いしたいと思います。かつて圭一さんが、私を敵視する要因になった、彼の恋愛への冷たいコメントは遺憾に思い後悔し、反省しています。けど、いま、一言申し上げるとすれば、圭一さんは一途だが対象の女性への規律、集中の加減がうまくなかった。慮る、察する。大人としての自立、もう一步、あなたと同様祈ります。そして圭一さんに唯一欠けているのは忍耐です。周りの人が目隠しをされている原因がそこにあります。仏門での評価が正しく行われなかったゆえんです。また忍耐が恋愛に一番、大切だったことも悲劇でした。圭一さんは賊軍とされた彼らが函館の五稜郭に立て籠もること、総裁榎本武揚と、新撰組副長土方歳三との関係を、正確に把握していました。支部で興味あるのはわれら二人だけ。利発です。圭一さんには釈迦に説法かもしれませんが一言述べます。仏陀の悟り、南無妙法蓮華經と一体になってください。感謝が生まれもやもやが、取れ、幸せになります。心の奥を浄化するからです。近いうち、暖かく晴れた休日に是非とも圭一さんにご訪問したいと思います。おいしいお茶とお菓子、そしてお昼にうどんにてご供養といたしたいです。誰でも一度は陥る、奈落に落ち独りぼっちになることの恐怖。恋に生きる私と圭一さんしか乗り越えることはできません。生活に毒されない美しい心があるからです。送迎しますよ。新川さん解かってくださいませね。圭一さんと私は清らかな愛を求めているだけなのです。障害者が信じる愛の価値。圭一さんは深いところを見つめています。イエスの晩餐の招待、神の義に従い付いていったのは、煩雑な一般の人ではなく孤独な障害者たちでありました。だれよりもつらく、悲しい経験をしたからです。だからこそ優しい気持ちが強いのです。新興宗教団体はひとりで信念を確立できない依存的人間が入るものです。真の宗教は森羅万象、関係性から生まれ、慈悲と思いやりは神仏より委ねられます。へりくだり下がるのが卑下することになっていませんか。懺悔することが名誉になっている。怒り、焦りは禁物ですが、自分らしく自然に生きることは悪いことですか。主体性が大事です。

第1章

圭一さんへ、「親を煩わしてはいけない。たとえ利己的な香りがしても。自分を調えることは下がることにつながる。親孝行を成し、先祖に感謝する。幸せは、確実に訪れるからね。」就労を思った私は強い不安に駆られた。しかし南無妙法蓮華經の唱題で私は気づいた。「失敗していい。」昼寝の母の枕元に生活費を置くと、不安は去って行きました。神は美しい心に宿ります。やはり仏様に真っ先に愛されるのは圭一さんです。新川さんの愚痴をけして出さない修行のたまものでしょう。圭一さんと電話口、嬉しかった。ありがとうございます。南無妙法蓮華經を信じ、唱えるものは美しい心があり、必ず仏様につながる。何処であろうと。圭一さんは天才なのです。R会で成仏するのは稀有です。私はあなた方親子三人に必ず報いたい。時がくるまで平穩に暮らしてください。確かな福音がもたらされます。哲子さん、あなたはいつも優しかった。南無妙法蓮華經のありがたさは妙の一字につきます。ただ法華經に帰依するのとは意味が違います。南無妙法蓮華經自体に意義があるのです。力、功德の集大成です。先に書きましたが仏を観るのに特別な団体はありません。すべて個人の徳が心つまり仏性を磨くのです。仏と感応する。資質と経験が問われます。皆、いろんな仏をイメージする。大統領、官僚、社長、彼ら欲にかまけた冷徹な成功者といわれる連中に何が解かるでしょう。私と圭一さんが見た乞食のような仏さまこそが本物なのです。二人には真実が解かる。つまり愛が。新川さん危惧されていますか。圭一さんの訪問、ミイラ取りがミイラになりはしないかと。真実の仏様はどの位置からでも、その人が本物なら観ることはできます。圭一さんは珍しくR会にいてサトリを得た人である。私は圭一さんをR会から足抜けさせようとは露ほども思っていない。彼は人格完成に達したからです。もうどうでもいい。ただ開租の呪縛からの解放を求めます。あなた方親子は基本的には当たり障りなくR会に向き合えばいい。私の重荷を少しでも肩代わりしてくださる優しい方は圭一さんだけなのです。この因縁を確信します。庭野鹿蔵、自らの名利のため靈友会の南無妙法蓮華經の教えに後足で砂をかけ、去った彼。権勢欲、野望、経営手腕でこの世の地位と名声を手に入れ死んでいった。彼は地獄にあると聖書は示す。どれだけの人を詐欺的信仰で悩ませたか。あなたもお解かりのはずです。何度も言います。圭一さんは天才です。だからR会にいても成仏できたのです。私が脱会を勧めることは最早ないでしょう。ただ楽しく彼と歓談したいだけです。拒否。私には怒りも焦りもありません。あるのは憐れみだけです。天がその不誠実と不従順を裁くのです。蜘蛛の糸を自ら断たないで下さい。私を信じて下さい。居留守電話、(一晚、考えさせてくれ)と受け取れと聖書が示します。そこまで真剣とは望外の光栄です。善意を信じて。圭一さん、自らの仏を見失うな。圭一さんにテレしたいけど気持ちが萎えます。正直、さびしいです。携帯の呼び出し音、待っております。いつでも。私にあるのは憐れみだけです。皆様が息災であらせられるよう祈っています。圭一さんの庭野鹿蔵への一途さを知り、その一生懸命さが、成仏に至った要因かと納得します。仏はどこにも遍満していますから。素直に思う。ちゃんこ、お好み焼き、大谷君宅で食卓に上がったおいしい料理。また参加したいなあ。隣には圭一さんがいてほしい。きっとそれが幸せだよ。大谷君の携帯番号、お知らせくださり本当に感謝します。私はR会に未練があるのではなく、釈尊(仏陀)の初めての説法(初転法輪)と同様、まず過去の仲間に教え

第1章

を施したいのです。なぜならそこには真理への意識があると信じるからです。新川さんは良識を踏まえ、人を傷つけるのを避けるR会では稀有な方です。さすが圭一さんの母君。救われるのは宗教団体で決せられるのではなく、あくまで優しさに裏打ちされた寛容な人間性にあります。天を信じて下さい。温かな人々と永遠の命を生きましょう。大谷君の携帯番号の件はあなたの優しさを天が私に再認識させるためにあったのでしょうか。圭一さんへの幾多の侮辱よく耐えしのばれましたねえ。必ず報われるでしょう。夜分恐れ入ります。相談したい儀がありまして。実は祖母の故郷鹿児島、桜島を一目見たいと望んでいました。厚かましく圭一さんに、ご同行願えないかと是非に。母が気を利かせ代理店からチラシをもらってきました。ちょうど西郷どんが、大河ドラマで放映中です。圭一さんは興味ないですか。幕末、日本国について思いをはせるのもいいかと思えます。私に何か目的があると邪推される。当然です、発信する限りは。それは圭一さんとの友情の確認です。宗教は二の次です。私の望みは温かい関係それだけです。新川さんあなたは素晴らしい。人を傷つけることに目を伏せる。それは幾多の傷を受けてきたということです。寛容なあなたの下、圭一さんは成仏されたのですね。凄い。R会に対し、私は思う。傷つけ、また受ける。意図的ならばハッキリさせる必要がある。常識の範囲ならば下がる必要もあるだろう。みそも、くそも、一緒にしてはいけません。法華経を掲げた開祖。だから信者たりえる。しかし釈尊は諸行無常と言われた。つまり神の善、法以外に絶対はない。個人崇拜にはしつた彼。世襲は俗的です。すいません、心証また悪くなってしまいました。この気づきは神から与えられるもので人間義人の一意見とは違うのです。目に見えない世界からの宿命なのです。信じて下さい。夜更けにごめんなさい。大谷君、圭一さんに、私の心は青空、何の悪心も懐いていないことをお伝えください。真理を追究しましょう。ちゃんこで人生、愛について語ろうではないかと。深夜便です。私が訴える愛は看板を掛けられるまえの、大本の暖かく漂う気、南無妙法蓮華経、キリストの義です。新興宗教とは違い、私は教祖ではない。神なのです。圭一さんから頂いた、仏陀の言葉集。留意します。改めて彼の一途な求道心に私は感じ入っています。もっと早く気づきがあれば、圭一さん、御免よ。宗教者の陥りやすいもの。自分は偉くなったと思いつくこと。でもあなたと圭一さんからは感じない。修行の根本はそこにある。下がることですね。幸せというものはささやかなものほど喜ぶときに感じられ、感謝が大きいほど輝く。その時、天は祝福し名を記すのです。幸せと共に真実の優しさが一緒に傍にある。諸行無常、移り変わり。神だけが絶対である。つまり神の摂理、仏陀の久遠の法。聖霊の宮になった私は絶対である。それは善です。信じて下さい。福音ですよ。人に勝つため自分を磨きあげる。それが仏を目指すということか。メモリーからの優しい音楽に触れ、比較から離れて愛をつかんだ圭一さんだけが、真の人格完成をなしました。仏を人格完成にたとえるなら人格の向上とは明らかに違う。仏が、争い、むさぼり、上を目指す、地獄、修羅、餓鬼の界の住人ではありえないからです。仏とは自己を忘れるところにある。欲望に満ちた価値観より離れた場所に。新川さん、圭一さんが侮辱されるとき、人の目や恥を感じてはいけません。ましてや自虐的に下がる必要もない。素直に温かく、そのさみしさを相手のひとに伝えられれば。彼の望みはそこにあります。圭一さん

第1章

語り合いましょう。解からぬものは捨て置いて、人格完成の姿とは素直で優しく温かい、比較からくる価値観より離れた、我ら二人にほかなりません。天才に敵はない。R会の人格完成は世俗的成功を手にするための手練手管と精神的非情さ、計算高さを身につけさせる。そんなところに重点を置いているのを感じる。自己執着である。圭一さんに尋ねよ。本物を。こんなに遅くメール受け取ってくださるのは新川さんだけだと始めに申し上げます。ありがとうございます。大谷君が釣りを楽しんでいると聞きました。良かった。人間らしく。一番大事。奇跡がメールを送る際、頻発します。初めて私は仏であると称しました。でないで送信が不可能だったのです。聖霊の保証。三十二相。日蓮正宗信者との問答の中、私は仏であると自然に表しました。仕事帰り、もみじマークを付けた軽四を見て、新川さんご一家の息災と安穩の象徴だと心が暖かになります。優しさに触れるほど感謝が増し、人は成仏に近づくのですね。R会本尊返却の件は当惑されたと思います。人は理想を追うとき選択を含め、他を傷つけるのが宿命にあります。本尊を引き剥がしたとき、私の運命は大きく前進したのです。「下がるとは冷静にエゴを克服することであり、自分を曲げ、卑下し、人の下に付くことではない。独尊。自分を大事にし、南無妙法蓮華経を心するとき実現する仏界である。」R会は発足当初、神に護られ進取の気概に満ちて法華三部経による功德であふれた。いつしか世間に迎合し始め仏門として失格していった。原点への回帰は難しいだろう。発足当時は三部経には力が満ちていた。肉欲をすてきれない庭野。名誉、金、権勢、への野心と共に肉親への偏愛。経力は失せて、墮落していった。いま、ひたすら南無妙法蓮華経の精神が大事である。新川さん、ありがとうございます。電話口、声が聞けて嬉しかったです。私は聖霊の宮です。神がことを起こすのです。圭一さんはじめ旦那様にもよろしくお伝えください。では。あなた方が南無妙法蓮華経、私という良薬を手で払っても、幾度となく口元へと運ぶ。あなた方の善良さを信じて。理解力は神から与えられる。時宜を見て訪れます。私はこの世では何をしてもし何処へいっても成功には縁がなかった。そして神になり下がったのです。けど神の弱さは誰よりも強く、そしてその愚かさは誰よりも賢いのだ。貧病争、その原因は愛のない人間関係に尽きる。人が一人で生きていけない悲しみ。人を出し抜き評価されたい。魔が入る。思いやりがすべてです。圭一さん、私の話を聞いてください。女性はあなたに好意を寄せるはずですが。ただ心配なのは選択できなくなることです。博愛の精神を持つことです。自分にかかわってくる女性たちを本当に尊重しましょう。そんな姿を誰かが見ています。運命の人です。圭一さん、結婚だけが人生ではないです。神の愛に気づいたものは御使いと呼ばれ、差別なき世で幸せに暮らします。資格は美しい心だけ。温かくね。大切だよ。圭一さんは唯一の女性を渴望するから苦しむ。純愛は美しい心で万人を思うところに光る。煩惱は捨て、目の前の人をまず大切にすることです。解かれれば自由自在です。自ら嫉妬、劣情から離れ、ただ対象の人の幸せを願い祈るとき光明はさす。その愛を善なるすべての人に捧げる、自分を忘れて。そこに真の恋愛の成就是ある。圭一さん、欲望を夢に替えてみよう。激しい恋も必要だった。でもこれからは相手の境遇を考慮し、つくす愛、そこに徹する。そのとき幸せは転がりこんでくる。南無妙法蓮華経を信じること。唱題することだよ。お金はその人の持ち分で入ってくる。心配はない。むしろお金は殖えては困るのだ。苦しみは

第1章

お金の使い方と南無妙法蓮華經で解決する。義と信仰と愛と平和を希求し争ってはならない。主の僕であるなら下らぬ議論はやめよう。私は人間、裁くことはできない。だが彼ら、頭の薪は燃え盛る。まず教えに疑念を持つ。宗教に対しすべて同様に。はぐれた羊を神は見捨てず捜しに行く。他を迫りてきぼりにしても。神の公平な愛です。利ではない。旦那様の病状は必ず快復に向かいます。旦那さまのご容態いかがなものでしょうか。案じております。テレするのはハードルが高くご遠慮申し上げました。本当に無難、心より祈っております。ご回復へ向かっている。それは良かった。善かった。ご容態変わりなく順調にご快復に向かっておられる。新川さんの連絡嬉しかったです。心配ご無用、大事なお父様。来る世まで命は尽きることはありません。

イエスの言葉、私の名によって父はなんでも下さるだろう。神は愛。つまり生活より愛を第一にする、衣食住の心配はなくなります。哲子さまからも不安、心配などお見受けせず伝わってきません。愛を大切にされているのですね。「下がる」。エゴに支配されず周りのすべてを理解し把握し納得の上で理性的に頭を下げる。優しい柔和な良心が肝要です。人間関係の悩みには南無妙法蓮華經の唱題しかありません。逆さまに物事を見てはいけません。良薬を毒薬とする。いつまで自らの主体性を放棄するのですか。善良を旨とし真実に気づくことをお勧めします。それは愛です。ごめんなさい。新川さんは私との約束事を守っていらっしゃるのですね。聖書に表れました。私の迂闊でした。恐くない。もうすぐです。幸せは近いです。人間万事塞翁が馬。何が正しくて善かったかは最後までわからない。焦りは禁物、愛がすべてだ。幸せは新川さんの後姿を見ている。忘れないでね。必ず来る。私という愛は男女間のLOVEとは違います。もっと深く大きな隣人愛、聖書の神の博愛です。基本です。表明します。森羅万象への慈愛ともいえます。ある発見をしました。彼女の批判は残酷な一面もあるが因縁から行くと対象の罰に繋がっているということです。イミズさんです。弥勒の役。健康なわけですね。今日、帰り道、車庫のシャッターが上がっているのを確認しました。平和な日常に戻られたかと少し心配申し上げ、想っています。皆様の幸せを祈念いたします。合掌。圭一さんにはいつも気付きをもらっていました。黙々と日々をこなす圭一さんには本当に力を頂けます。そしてただ不満は大きな愛に変え、小さな執着という愛を不満に変えないことです。圭一さんへ、恋は崩れるように訪れます。対象から目をそらさず規律を守り忍耐。そして激しく燃えて下さい。しかし圭一さん、結局、心あるものは神の御使いとなり自由を得ます。欲望にはしらず清らかな夢を見ましょう。結婚という呪縛から抜けるのです。真の愛の為に。私の愛があなた方のうちにあるならお聞きください。来る世、苦しみを生み出す、労働、生殖。生活の悩みからは解放されます。自由、平和、愛を示すために。善男善女はキリストの義と南無妙法蓮華經にて不老不死になる。私が不実に見えますか。神の御使いになる人に、もはや悩みは皆無です。最善に至ります。そこから真実の博愛、隣人愛が生まれる。理解力は神から与えられる。私が描いた夢、各団体の南無妙法蓮華經を一つにする。それは各位が自分自身の南無妙法蓮華經を見つけることでした。新川さん、ありがとう。圭一さんと電話口話することができて本当にうれしかったです。最近では最高峰の喜びです。旦那様もご快復されたもよう。良かった。新川

第1章

さんハッキリ言う。R会の他の信者などどうでもいい。私は縁ある温かいあなた方ご家族を救いたいのです。私には手に取るように人の心が解かる。 私の神の国は、欲望の太陽が沈んだ後に生まれる愛（アガペー）に基づいた、隣人同士の抱擁の中に生まれます。善き人たちとの魂の交歓です。快感が走ります。楽しい場所であります。新川さんは傷つけられることの痛みを本当に知っておられる。安易に教育と称して人格を否定するものはやはり悪人です。無頓着になってはいけない。正直に。 自分の南無妙法蓮華經を見つけるとは本物を知ることです。真理と信じてください。法華經 15 番から 22 番、八品の中、16 番、文言の底に潜み埋め込まれている成仏の種の自覚です。 あなた方は理由もなく私を憎んだ。聖句にあります。しかし私はこれからも信仰する善良な人達が一人としてもれず永遠の命、不老不死、神の国で生きられるよう祈っています。 人間関係は割り切れずそれでも割り切ったつもりでいた。が、割り切れない。神は心を捨てない人を愛し贖済するのです。人を愛す。すべてに割り切れないな。 各位が自らの南無妙法蓮華經を築く。これは異体同心ということ。日蓮の南無妙法蓮華經の想いを明らかにする。温かい仏陀の覚りである。皆、幸せの境涯へ達する。 たとえば私を欺くものは、神を欺くものとなる。あなた方はあえて神を敵に回すことになる。新川さんあなたは多くのことに心を配って思い煩っている。 私はあなたの罪を定めない。私はあなたに捨て置かれることはなく、私の肉体は朽ち果てることはない。私の言葉は神のもの、善き人か、惑わすものか考えてね。皆、弱い人間です。預言者は言います。イエスを信じることで罪はことごとく救われると。あなたの命を黄泉におきはせず、父を信ずればすべての望みは叶うだろう。 世は飢えた権勢欲に取りつかれたもの達の修羅道だ。信仰に背を向け、聞く耳持たず。煩雑な小事にうつつを抜かし賢い気である。怒り、愚痴の温床だ。哀しいねえ。 批判する私に怒りはない。若干の憤りはあるが。私には憐みしかない。人生を思いやりなく断罪してはならない。新川さん、夜遅いメールが続き申し訳ありません。お伝えしたい儀に駆られ遠慮もなく福音として贈っております。心を閉じず寛大にお受け下さい。 私はR会にいたころ、自己主張することにためらいがあった。会員は驕慢とされたくなくせに開祖の教えを盾に傲慢を振り回す。真実の信仰は南無妙法蓮華經にしかなかった。 深く内在する仏の生命力を開発し、真の幸福を獲得していくのが日蓮の唯一最高の仏法。南無妙法蓮華經。常楽我浄に繋がっていく。いつも楽しく美しい。真に末法の仏の種を仏陀の覚りへと結びつける、私の南無妙法蓮華經しか成仏に至る道はない。法座で皆にお伝えください。心を洗う、温かな仏法の存在を。今、新川さんの口調に接し少し安らぎました。私の思い受け入れられなくても、猫でも優しさは解かります。このお慈悲が来る世まで流れるのを願ってやみません。圭一さんにお伝えください。善意を悪意で踏みにじってはいけません。いつも信じられるものは愛だけです。主体性を無くさず、楽しく美しく生きるために。 圭一さんには女性疎遠の相がある。妬み、ひがみをもつことが最大の不運を招く。心の奥底に眠る生命力に働きかけなければ。比較をやめ、南無妙法蓮華經。正しき教えを忌避すれば好ましい女性からも忌避されるは因縁。その女性とは清らかな愛を抱く人。圭一さん、あなたは一番わかる位置にいてそれが見えない。 あなた方は頑迷で真理に目を閉じ、耳をふさぐ。私に繋がらなくては実はならず朽ち果てるのだ。あなた

第1章

方の善意が問われる。滅びの門は立派である。それだけである。救われる者は予定調和。つまりあらかじめ決まっている。なぜか新川さんにだけ勧誘を働きかける。侮辱される圭一さんの気持ち痛いほどわかる。簡単に流さないでください。お盆はいろいろ起こります。目に見えない世界、大切にしたいです。愛に基づく因縁、南無妙法蓮華經。事の一念三千。神に聞き従うより、どこかの視野の狭い悪質なおっちゃんに従う方があなた方の為になることでしょうか。簡単にわかること。真っ直ぐみよ。

(イミズさんへ、少し発見がありました。あなたの批判は残酷で情けがないものと敵意をもっていました。しかし因縁から批判は対象の罰に繋がっていた。正義。健康なわけですね。しかし罪を犯したものをわが身も返らず、独善的に断罪してもよいでしょうか。イエスは病人を治しに来た。責めるより愛が大切。それが宗教者です。覚れば傲慢、妬みは去るでしょう。)

R会、大谷君へ 素直に思う。ちゃんこ、お好み焼き、大谷君宅の食卓に上がったおいしい料理。もう一度参加したいなあ。隣には圭一さんがいてほしい。きっとそれが幸せだよ。思うに、山下のアパート。チーズとチョコ、ロックで飲んだウイスキー。よくぞここまで頑張ったね。これからは楽に生きていこう。神仏を信じ委ねて。飲み会、脱会した私に虫のいい話と思われるか。確かに私はR会の会員ではありません。でも誰より幸せです。着るより脱ぐからです。媚びではなく真理、語り合える仲間と歓談したいだけです。幸せに至る思想は、気付きと因縁がないと誰にも教わることはできません。周りは冷え冷えとします。私はR会を去り真理を見つけたが、君と、圭一さんの、R会に対する一途さ、執念も知りました。私とコンタクトを取ろうとしない君、私は友情と良心に訴えかけたい。仕事。刀折れ、矢は尽き見事な戦いぶりだった。本当に頑張ったね。これからは平和を求めて下さい。安楽行です。この意味と共に、会で唯一、人格完成をなした圭一さんをよく視て下さい。私はR会に戻る気はさらさらありません。ただ君との温かい関係を取り戻したい。お父さんとの釣りの思い出、プロレス。きっと大事だよ。上昇志向はもういいだろう。夜分恐れ入ります。大谷君、元気ですか。これから暑くなるのでお互い体調管理には気をつけたいですね。ではまた会える日を楽しみにしています。

(翌日の昼、大谷君から私のR会脱会后、初めてメールの返事が来た。)
「遅れてごめんなさい、ありがとう」私はありがとう、またいずれお会いしましょう。ありがとう。と送った。友達の多い、大谷君は忙しいと思われそうですが。末席にいる私も、お忘れなく。ウイスキーロックで行きたいです。チーズとちゃんこでね。(返事はこなかった) テレしたが、呼び出し音が響くだけ、私はメールを送った。私に繋がっていなさい。枝は木に繋がってなければ実はない。私が愛したようにあなた方はお互いに愛し合わなければならない。頭正会、雄さんへ 会には頑張ってほしい。後、解散の暁には勝ち馬に乗り私が本物の南無妙法蓮華經を大音声する。同時に聖書に表されている神の国が愛に基づき生まれる。永遠の不老不死。そこにはイエスを侮辱した、詐欺師、道化役の浅井はいない。会はいたるところで活動するね。最近、利用している就労支援施設の女の子からファミレスへ呼び出され、隠れていた会員の女性から騙し討ちを受けた。私は勧誘を主導し頭正新聞の記事の重大さ

第1章

を盛んに訴える、一般紙は全く読まないというその女性を、世間知らずと一喝した。いつもの一つ覚えの危機を煽るペテンだったからである。赤(アカ)と呼ばれた私の祖父は転向し紡績工場の幹部になる。小学校四年しか出ていない彼は、帳簿、その他、猛勉強しただろう。大阪釜が崎の土方の立ちんぼうの暴動では革命には程遠く非現実的で、愛に目覚めた彼は、権力を目指したのだ。聖書の神は神だから神。誰が決めるのでも条件づけるものでもなし。私には怒りも焦りもありません。平穩に楽しく人にかかわるだけです。上も下も地位は要らない。聖書が言う。私が顕正会の会員であることは事実だ。雄さんそれでいいじゃないか。私は月末、法華宗、先祖からの菩提寺へ行く。安倍は権力志向。国粹主義者の桜井よし子に支持され、国体、神の国を目指しているように見受ける。だが最近ではラジカルな桜井と距離をとり、リアリストとして改憲に向かっている。岸信介の流れを汲む安倍にとって祖父のレガシーである日米安保を傷つけることはないであろう。だが彼のキャッチコピー、美しい国日本との矛盾はないのか。日本は戦から離れ米中の属国でもいいと言う、平和主義者にも一理あるのでは。聖書が促す。顕正新聞は正しい、安倍は独裁に向かうと。私は製本にて布教する。確かにイエスの死は意味合いの解からぬ人には非業の最期にも見える。しかし彼は復活した。外してほしくない。ひとつ言っておきたい。南無妙法蓮華經。これは末法に活かされる仏陀の覚りと仏種の結びつけである。日蓮が嬉し泣きした法華經による成仏がそこにはある。顕正新聞、桜井よし子批判の記事、褒めてあげたい。確かに新聞は右左、中立である。神の概念だが「はじめに言葉あり」久遠元初の気が、聖書の神、私、日蓮であります。古文、御書が読めてもそれは自己満足の域を出ず、平易にその意味、精神を解かり易く人々に伝えてこそ、浅井の存在価値はある。顕正新聞の中、予言の失敗に関するの検証、訂正、謝罪はないのか。そして複雑なイエスの十字架の意味を浅井は理解できず横死と言って竿の先で星を打ち、自らを辱めるのである。イエスの復活、南無妙法蓮華經はリンクします。「浅井は自らの拝金など悪行を懺悔し、速やかに会は解散すべきである」と、日蓮正宗の在家信者で面白い人がいるのだ。顕正会に友人がいると伝えると、ぜひ、破折したいと息巻いていた。一度三人で鼎談をしませんか。半端な男ではない。組織への所属、教化、これらは救われぬ。心に温度差がある。予定調和。深い思いやりを信じるものだけ救われるのだ。それでいい。雄さんも信じるね。私はグローバルな感覚を意識するとき、少し悩みました。聖書が響きました。日蓮が生まれ、建長5年4月28日、南無妙法蓮華經を大音声し立宗宣言した日本国が取りあえず救われると。私が外国語に縁なかったことの理由が、判明しました。日本人はその親切心からみても本来、心が美しいのです。そして日本を愛し敬意を抱く外国人たちが報われる。善良、親切、南無妙法蓮華經の精神を理解するものたちである。人々は私のもと、愛に満ち幸せに暮らすのである。今振りかえって、あんなに散財して飲みに戻ってくれたのは雄さんだけです。有名クラブにまで、本当にありがとうございます。鼎談、日曜楽しみです。雄さん、今日の弁説は凄かったね。貫井さんも圧倒されていた。私は大石寺の日蓮、真筆の本尊、見てみたくなった。宗派の因縁から離れられないのが事実だ。結局、正しいことは愛し合うことだと再認識した。聖書は神の自証にしか判断はない。それを踏まえると日蓮の御書も神仏である私にしか真意を汲むことが

第1章

できないのでは。文言から伝わる、文献としての信ぴょう性、妥当性より、その愛を。 顕正会は誹法であるとして、他の教えが顕してある文献は検証どころか目にも入れようとしない。日蓮正宗は宗門として堂々問答、批判をしている。そこに潔さと自信を認める。だが私は思う。仏への道はそれだけではなく幾筋もあると。貫井さんと大石寺に行くことになりそうだ。楽しみにしています。日蓮、真筆の十界曼荼羅本尊を拝観します。受戒をその目的のためのみ致します。聖書の促しです。 私が思うに雄さんたちは頭が良いから物事を理屈で考えようとする。「本尊がどうした、ろうそくが三本から四本に増えた、邪義である」。だが誰も本当の南無妙法蓮華經の意味を語ろうとはしない。たとえば軽い知的に障害のある子たち、自分を守るのが精一杯、でもわずかでも優しさをあらわしたい。そんな子たちは良心で見抜くのだ。その教えに温かさとおまの救いがあるか否かを。それはけして無視はできない。へ理屈ではなく優しい感覚です。 仏への道筋は幾つもあると書いた。各自が南無妙法蓮華經を心に確立させるということです。 仏法という表現へのこだわり、日蓮は本当に情に厚い人だったのだよ。仏様だと認めるなら私の言いたいことは解ってくれるはずだ。 仏法とは深い奥の生命力を開発し成仏するための方法だったのだね。雄さんから伝わる印象、どこか冷たいものと錯覚していた。日蓮正宗の勤行要典から凄爽やかさを感じた。日蓮を唯一本仏にしているからだろう。本門八品派600年の歴史。一族が護り続けた法華宗、私の真の題目の誕生。融和である。 桜井よし子は、皇太子ご夫妻まで攻撃する。傲慢で不敬極まりない。天皇の上に君臨するつもりだ。何たる極悪非道。雅子妃の病状も存知せず誹謗する、この冷酷さ。顕正会は言う。彼女は戦前への回帰を、神道を用いて行おうとしている。神の国の現出である。取りあえず聖書の神の国とは違います。 念法寺、塩尻正春君へ 正春、心配するな。おれは神仏の集まるところが好きなのだ。温かい空間が。君の観た仏様に少しふれたいだけさ。他意はない。同じように信仰を持つ人間ではないか。正春、勘違い知られんな、お寺、宗教は二の次です。君とただ懇親を図りたいだけ。大人になった二人。それぞれの想いがあるはず。認め、励ましあいたい。 忙しいところ連絡くれてありがとう。君がつかんだ信仰は、主体性をもつとき必ず真の仏を観る。また善き縁に本当に互いがなれたら真実、嬉しいです。正春、悪かったな。どうやらおれの口調が君をイラつかせるみたいだ。久しぶりだからアプローチの仕方がつかめない。悪気はありません。真如苑、たつえさんへ 昨日は整髪ありがとう。そして宗教は道徳ではなく思いやりです。あいつは純粋で優しいから苦しむ。個性を変えようと思うな。人格を変えようなどという暴力は誰に対してもなされてはいけない。それが因縁を変えることだとしたら、とんでもない教えである。いかなる時でも優しく、まず宗教はそうでなくては。 (まず看板を各宗教団体が下ろす。その上で、神による安らぎの世界に向けて、一步踏み出すため私が打ち出した思想を、皆が受け入れる。しかし実現は、絶対に難しいと感じる。私は近い、善き人たちにまず気付きを与え、固定観念より離れ、自由へと誘おうと思います。これらはその軌跡です。)

無宗教であると宣言し、サイババを崇拝し愛する君へ。

お上人も病にありながらも務めを果たしたいという想い、葉書の直筆の不安定さからも滲

第1章

み出し、伝わってくる。儀を果たしていない門徒には、彼は冷たく酷に見えるところがあるかもしれない。しかしけして悪人ではない。支えねばならぬ時ではないか。私は君の「長男のアトピーが食用の油を変えることで劇的に改善した」とかつて聞いたのを思い出した。私は面倒で細かく聞かなかったが、同じアトピーで苦しむ真子のことを思えば冷淡な態度であった。君は私を責めるような強い口調で「聞く気、なかる」と言っていたね。うんちくだと思って聞かされるのは確かに忍耐が要ると思った。そして、最近、真子を心配する母に、「詳しく話を聞いたらどうだ。」と促した。君が電話で親切に母に対し具体的に一生懸命、説明しているのがよくわかった。実はこれこそ南無妙法蓮華経では、確かに本尊、題目としての文字、南無妙法蓮華経の意味は大事だ。だがその意義、実は精神にあるのではないのか。君は思いやりの心をもっている。やみくもに南無妙法蓮華経を押し付けて来る連中もいるが。君の心に温かい南無妙法蓮華経が存在しているのに気付いた。親鸞会からも離れ無宗教になったという。サイババへの心酔。その理由はサイババの言う大本の愛にある。そうです。それが南無妙法蓮華経なのです。ポジティブな仏陀の覚りである。まこと、お寺も言ってみればただの宗教団体である。心、精神、ぬくもりが生きるところに南無妙法蓮華経はある。仏は遍満しているからである。温かい心を忘れてはいけなかった。私は形だけを追いかけていたのかもしれない。自我との戦い、己への執着がなくなるとき他者への思いやりは深くならなければならない。それがなければ、ただの冷酷な薄情者の誕生である。亡己利他。南無妙法蓮華経、智慧と慈悲を強く抱き私は生きていくつもりである。君よ、それでいい。南無妙法蓮華経とは、正義、真理、愛、親切、思いやりだからだ。精神が底流していればいい。何度も言う。久遠実成の本仏、釈迦如来はどこにも遍満している。ありがとう。君の好きな玉置浩二にはビートたけしが言うように逆境を自分自身に納得させる「田園」とか、また自然に幸せを望むことの大切さをうたった、たくさん名曲がある。過小評価。彼にとっての愛とは。うつ病の経験があるという。離婚をいくつか経験した彼。ある意味エゴイストにも感じる「幸せのランプ」。(幸せになるために生れてきたのだから好きな人と一緒にいなさい。そして好きなことをして行きなさい)。でも感覚は俺に似ていると思う。正直でないとな人の心は打たないから。日蓮正宗の貫井さん。もらった資料、全部、読ませていただきました。義は、正統性、現証、功德。それより本質的な愛が決め手になるのでは。怯まず布教に歩くあなたの勇氣にありがとう。私が富士へ行く、かなりの勇断が必要になります。貫井さんとの縁が二人に、そして全世界にとって有意義になるのであれば、私としてはやぶさかではありません。時宜が訪れたらいいです。動画、視させていただきます。八品派、日隆上人、法華宗再興の唱導師。わが先祖は命を懸けて真宗王国のこの地に南無妙法蓮華経を広めようと京より参ったのです。それでも私は臆服せず、信者の仏界を似て正しい仏の教えを判断いたしたい。今日は本当にありがたい日曜日になりました。夏風邪などがごぞいます。お身体ご自愛ください。またお会いするのが楽しみです。名残惜しいですけどお休みなさい。私は私の思想を再確認いたしました。動画、拝見しました。血脈、正当性。私はそれより南無妙法蓮華経の意義、精神を語りたい。それは仏陀の覚りです。執着、渴愛を滅し、智慧、慈悲を懐くことです。古文歴史の恐い先生と法師はやはり違います。思いやりあるところに

第1章

仏の教えは温かく存在します。独善的党派心は先鋭的になり、また攻撃的になります。日蓮は悪魔と対峙し、あえて傲慢を演じたのです。絶対生命尊重。南無妙法蓮華經。理論闘争のため日蓮を担ぎ出すのはもうやめにしませんか。卵が先か鶏が先か。日蓮の心そこにあらず。南無妙法蓮華經。異端とは分裂を促すものと呼びます。日蓮を「悪しく、敬う」とは彼の真意を汲まず、ただ驕りたかぶり慢心を起こすということです。人々の平安を願った日蓮。セクト争いなぞで泣かせてはいけません。南無妙法蓮華經。あなたは御自分に尋ねるべきだ、日蓮の弟子であるかと。私の書きものを読み、心動かなければ決裂もやむなし。とはいえ、互いに南無妙法蓮華經を信じる身、憐れな。「猫を飼うといいですよ。」(笑) あなたのセクトも信じる人には信じられるか。私は私の中の良心、つまり仏性しか信じません、南無妙法蓮華經に基づいて。借りてきた理屈はもういいです。私は私を信じる。私が日蓮だからです。ありがとうございます。南無妙法蓮華經。お休みなさい。またね。合掌。(笑) 日蓮正宗は正しいと聖書が示す。しかし今、私自身が改宗する意味はあまりない。私が日蓮本人だからです。解かりますかな。とりあえず南無妙法蓮華經は正しい。日蓮は久遠元初の神、つまり聖書の神、そしてイエス、聖霊と共に今、我が身にある。信じられるかな。闇に光を求め。あなたは前世のことを覚えていますか。日蓮が上行菩薩、21番の「このひとうたがいなけん」を自分だとしたのは自覚です。私が日蓮である。これも湧き起る良心の自覚にしかないのです。(釈尊が過去を語るのだから日蓮なら答えろ)と、変な理屈だ。(神は仏になれない)と、神にも仏性はあります。猫にも、ミミズにも。すべてに成仏する種があるのです。それを証明したのが法華經です。(末法の仏は誰か)と、南無妙法蓮華經を行ずるものは速やかに森羅万象、成仏する。頑ななものには理解できないだろうが、心柔軟なものには信じるのは容易です。つまり末法の仏は私ですね。南無妙法蓮華經は正直、親切、功德の集まりです。森羅万象の幸福を祈るときすべて円満に成仏します。保ち、祈り、唱えることです。実はあからさまに仏であることを称したのは初めてのことです。お休みなさい。八品派法華宗についての資料ありがたいです。あなたの尽力、勇気に対し大きな賛辞を贈りたいと思います。さっと目を通しました。八品には、あなたが主とする如来寿量品も含み否定はしていません。ことさらあげつらわなくてもよいのでは。仏が二人いてはいけないとか、どちらが偉いとか、人が判断できるものではない。根拠は開經、無量義經にあります。世間の価値観から離れる。大事です。仏、つまり法は無常、無我、無大、無小、無生、無滅、不来、不去、不出、不滅の相、義を持つとあります。仏はどちらが偉いとか、世間の価値観で測るものではありません。仏は仏であって仏にしか解からないもの(方便品第2)。ドグマから離れて自由になってください。釈尊と日蓮の位置にこだわるのが世の救いに繋がるとは思えません。南無妙法蓮華經。仏、日蓮からの深い思いやりです。固定観念を破ることが大切です。(日蓮が釈尊を教化した。末法には釈尊は仏種をもたらしことはできない。日蓮だけ)と言われるか。それは当たっているかもしれない。しかし違っているかも。仏にしか解からない。だからこそ善を促し南無妙法蓮華經。日蓮への想いです。行じましょう。だから南無妙法蓮華經で南無妙法蓮華經だから南無妙法蓮華經なのです。そして南無妙法蓮華經で南無妙法蓮華經です。(笑) 富士大石寺へお誘いいただきましたが貫井さんの信念と気概、重く両刃

第1章

の剣です。あなたを破折する力も意味合いも私にはない。ただ法華経は寛容を旨としていることを伝えます。南無妙法蓮華経。土曜日は仕事です。貫井さんの熱意、本当に頭が下がります。日蓮も喜びでいっぱいでしょうね。今日は資料を届けて下さりありがとうございます。では就寝といたします。今回、鼎談にしたかったのだけれど、顕正会は二人で来るそうです。私は中立というより自分の信じる日蓮、南無妙法蓮華経を支持する立場から離れません。存分に宗論、法論を戦わせて下さい。正々堂々。楽しみにしています。(恐い)。貫井さんらしくもない。ただ彼らの送迎関係の時間の都合で一人は付いてくるだけだそうです。私はそのもうひとりに面識はありません。いずれにしろ暴力的危険性は皆無です。大丈夫です。(取り乱した)。見知らぬものは怖いものです。だから私は自らの仏を念じ、神に祈るのです。そして人間にできるのは最後、仏を念じ神に祈るそれだけなのです。複雑なイエスの十字架のことを浅井は自分にとって臭いものには蓋をしろという感覚。復活と南無妙法蓮華経はリンクします。あなたが吠える、(浅井は自らの拝金などの悪行を懺悔し会は速やかに解散すべきだ)。良く解かった。ではイエスの十字架の死の意味が解かりますか。浅井は理解できない。つまり博愛、慈悲という真理を罰が当たると脅かしモザイクで消去しているのだ。所詮彼は拝金主義の権化、池田大作へのコンプレックス、恨みが底にある。そういう感情もあるのは間違いない。(何を言っているのか滅茶苦茶でわからない)。顕正会の人間もよく使う常套句ですね。まさに自らの無知を責められる前に卑劣に逃げるための手段として振り回す文言です。結局、一つ穴のもじなか。宗論し、勝鬃をあげる者は明瞭でなければ。ごまかしは、ご法度です。真理に向かえ。このままでは、ともに自画自賛の、すれ違いの会談になるでしょう。注目の日蓮直筆の大曼荼羅本尊の扱い方について議論するのもいいが。仲介役ではないが傍観気味の俺は完全に君の排他性にしらけてしまった。貫井さん、日曜13時半、お待ちしております。楽しみです。(笑) 私の軽四で行く予定にしています、それでいいですか。怒りをもって立ち去りたくなくてもこらえてくれますか。貫井さん、出たところ勝負ですね。とりあえず私の車で当所へ行く予定でいいですか。開かれた食堂で心配は要りません。向こうも一人です。鼎談です。戸惑われるのは貫井さんらしくないですよ。もし他に好いものがあるのなら従うのはやぶさかではありません。会談、成功させましょう。どんな形でもね。今まで仕事でいらしたのですか。私に任せて下さる。了解いたしました。貫井さんの体調良好と交通安全を祈っています。お休みなさい。南無妙法蓮華経 合掌 今日はどうもありがとうございます。いつも思うのは、正当性、ドグマのぶつけ合いは不毛であり、複雑をシンプルにした日蓮の南無妙法蓮華経の慈愛より離れていく。お疲れさま、でした。お忙しい中、遠路はるばるお越し下さり本当にありがとうございます。念仏、真言、禪、謗法の罪と見聞きもしない顕正会よりは日蓮正宗は宗門として堂々と批判し好感をもてる。破折が命ですね。日蓮の真筆、曼荼羅本尊を見てみたいと思います。来月予定してくだされば。長距離、複雑な道は障害のせいで運転に難があります。おんぶに、だっこに、なるかも。いずれにせよ頑な人は苦手ですのでよろしくお願い申し上げます。聖書が富士大石寺へと盛んに促します。新たなる境地への旅立ちです。楽しみにしています。南無妙法蓮華経。一つ質問、日蓮が日興にすべてを委託したとする釈尊の扱い、なぜ五老僧に伝わ

第1章

っていないのでしょうか。血脈、日蓮が弟子を最上としたとは思えない。日蓮正宗血脈の正統性。日蓮が破折、折伏、殺されることさえも功德と信じ、遺言としてしたためた開目抄。日蓮は名を残そうとしたのだ。そんな彼が臆病風に吹かれたと言うのか。秘かな日興への最上とは。それはないと思う。日蓮ほどの男なら党派心を持ち分派していくのを想定していただろう。だが誠実に艱難に耐えたものは成仏する。日蓮系の中、正統性にばかりにこだわることは、極めて異端である。確認して置きますが日蓮正宗への勧誘は、なしでお願いします。それが大前提。また返事します。受戒は少しハードルが高いです。話が飛びますが、法華経12番ダイバダッタは過去世に仙人であり、釈尊は身を粉にして弟子としてつくし、成仏をなした。過去世、日蓮もあなたの言う通り、釈尊の師であった可能性もある。日蓮正宗の受戒は難しいです。もはや、節操無きことはできません。私には日朗からの血脈に基づいた教学と先祖の想いがあります。(罰が当たる)だと、私に呪いをかけ事故死させようとした或る日蓮宗の坊主。私の南無妙法蓮華経で跳ね返した。坊主は血を吐きのたうちまわり、入院を余儀なくされた。脅かす相手を誤るな。真筆を拝観する目的のため受戒せよと聖書が言う。つまりそのためのみ、一時的なものを許されますかな。私にとって重大な起点になるみたいです。よろしく。安心しました。寛容ですね。貫井さんにかえって御迷惑になるのではと思いました。許されるなら来月にでも決行しますか。御都合と必要事項お知らせください。特に所持金について。寺詣ですから贅沢はしたくありません。互いの信義に委ねて遂行されることを祈ります。とりあえず、助言に基づき五万円携え向かいたいと思います。酒ですか。正直、懐具合寒いもので、いま近所の先輩にもらったオールドを水割りで頂いております。私はやはり冷や酒が一番です。私はできるだけ簡素な生活を心がけているのでカップ酒が一番です。お爛は最近、飲み屋で頂きましたがしっくりきません。基本的に一人酒が好みです。確かに冷や酒は甘い。それは言えます。そして飲み屋はエゴの吹きだまり。真理はほっかられ侮辱が生まれるので好きではありません。喧嘩沙汰は御免です。私は、冷や酒は大関の300mlが最適です。深酒、泥酔は愚の骨頂です。貫井さん豪雨があり参拝の日時を変えてよかったですね。大きな功德です。油断大敵、魔が入る可能性があります。私は大丈夫。聖霊の宮ですから。いま、道中一人、くれぐれもお気を付けになって温かく、ありがたく、楽しい参拝であることを祈っています。雨の中、通行大丈夫ですか。元気でいて下さいね。日蓮正宗、古文歴史の恐い先生の分析からくる理論闘争。そして心の琴線に響く温かい日蓮の南無妙法蓮華経、優しきパワー。どちらを選ぶのが幸せか。貫井さん、お疲れ様です。必需品があったら教えて下さい。聖書は参拝に道中を含め支障はないと示します。よろしく願い申し上げます。旅慣れていませんので一泊でも重いです。ありがとうございます。身ぎれいな格好には気をつけます。連休に道が混むのが予想されますが、貫井さんへの信義に委ねます。ありがとうございます。薬はバックに余裕を持たし備えました。なるべくご迷惑がかからぬよう祈っています。配慮かたじけなく本当に感謝申し上げます。(旅をとにかく楽しもう)。そうですね。そう言っていただけると心が軽くなります。いろいろ忌憚なく語りあいましょう。よろしく。(いろいろ紆余曲折があったけど無事、日蓮正宗の御寺の参拝を終え帰宅した。) 貫井さん、耳の調子少しおかしい。法を謗った罰かと

第1章

聖書に尋ねたら断じて違ふと出た。すぐ直ると。聖書を耳に当て、祈りの言葉を称えたら一発で、直った。凄い。霊力の高まりの知らせだった。本当に、本当に、本当にありがとう。ございました。不思議な何かに会えたみたいです。カーテンの悪霊も消え、猫は円くなって私の傍らで眠りました。起きがけに盛んに猫が何かを訴えてくる。(ありがとう)、だった。下種。南無妙法蓮華經。合掌 権力を持った時点で人間は欲望にスイッチが入る。そうならず、権力、地位に無頓着なものが仏に近いと言える。無頓着とはこだわらない心。自分の南無妙法蓮華經に気づき、懐く。世界中の人すべてが主体性を持ち。また聖書を大切にすると人たちも含めて。世界中に愛と思いやりが溢れるのが夢。 貫井さん、主体性を持つとは、けしてわがままを通すことではなく、相手を察し、素直に思いやりと愛、寛容性を持って働きかけることです。少し気にかかったもので。親切から一言「他人を捕まえてバカたれ呼ばわりするようじゃまともじゃないぞ。頭を冷やせ」。基本的に送信されるメールは最善のもの、害を及ぼすものは霊的に送られぬ。まず自分とは何者か、何をなす為に存在するのかと自身にといたまえ。そして成仏とは何かと。狛下から離れ糸の切れた凧になったか。真の預言者とは私だ。聞き従わなくてはならぬ。信じないものはことごとく滅び去るであろう。聖書の言葉である。正宗、八品派、もういいのだ。貫井、君は一つの大きな事をなした。皆が自らの南無妙法蓮華經を見つけることになる。不老不死となり成仏する。 カレーハウスに来ているのか。おいしく楽しんでください。私はお酒を頂きせつかくの機会ではありませんが心ならずも遠慮させていただきます。(来いとは言っていない) これは早合点しました。帰りの道中お気をつけられるよう願っています。 カレー美味かったろう。預言者に従い、帰路につかれたし。ありがとう。 なんでも甘いかな。君が人として辛いからだ。(インド人も皆甘く感じるぞ)の質問に、お釈迦様以外は皆、辛いかもしれないぞ、(もういいわい)と貫井は言った。私はハハハと一緒に絵文字を送っていた。破顔の。 富士大石寺の奉安堂でのことです。 歌舞伎じゃねえ。こんなもの視に来たわけじゃない。俺が視たかった日蓮真筆の曼荼羅は、金ぴかのものではなく鎌倉時代に描いた墨で堂々と書かれたものである。(すごいだろう) 貫井は言う。大仕掛け舞台装置と演出に騙されるお前はおかしい。私は言いきった。罰などくれるならくれてみる。俺は俺だけをいつも信じるだけだ。狛下の仰せのとおりに行動するだと。馬鹿か、朗朗と御経を唱えるだけなら北大路欣也でもいいのか。徳があるのか、ないのか全く分かん。そんなものに盲従する君は何者だ。 貫井、お前の想いは良く分かった。帰りのすき家でカレーに豚血を放り込んだとき、つまり作法の否定。私の想い解かってくれたか。 私に固定観念を破る自由な発想を力づくで、聖霊は教えてくれた。閉鎖病棟のベッドの上で。 日蓮正宗の勤行要典から凄く爽やかな力を感じるよ。八品派との兼ね合い、血脈は異だが日隆上人の三大秘法、題目、本尊、戒壇。共通する。私によって真の一つになる。いろいろな団体、宗門からいいとこ取りさせてもらっている法盗人、因縁からならそれでいい。周知されれば結果、人様のためになる。神の認証です。 実は三大秘法は共通していなかったのだね。日蓮正宗の言う三大秘宝は、仏、法、僧にある。そしてその意味は仏とは日蓮、法とは戒壇の本尊、僧とは二世日興。 エホバの証人、山口さんへ お久しぶりです。熱い夜が続きます。さて死んだ人がコピーとして返ってくる。私

第1章

は言う。それは本物と違う。空である、伏した記憶が体を再び得るのではないかと。偽物とは違います。また、意識も空でありすべてに実態がありません。ただ表層の感覚の奥底が天国、地獄を体験します。やがて善なる空は色として地上へ戻ってくる。楽園を生きるのだ。また質問にお答えください。互いのためになるはずです。私が神として気付きを顕したいからです。よろしく願い申し上げます。その日は近い。明日、楽しみにしております。アバウトで結構ですから、何どきぐらいになるかご連絡くださればありがたいです。（当日）神に時間の心配をさせる気か。作為的なら天罰必中だぞ。このチャンス好意的にとらえねば地獄の門が待っている。私の心ならずも、です。親和的に行きたい。生命維持のための食事はなくなる。味覚を楽しむことをイエスは認める。好きな場所で好きなように愛に裏打ちされて生きる。そして憎まれ口叩く前にもっと人格を磨け。俺のためなら大きなお世話。組織のためなら罪は重いぞ。でもね、暑い中本当にありがとう。感謝します。或る人へ手を合わせ、ありがとう。ごめんなさい、お願いします。そんな人が幸せをつかむ。小言はなし、仲たがいするほど重要か。少し考えて。夫を立てる。人は自分を理解してくれないものだ。だから期待してはいけない。理不尽が続けば、互いに居場所がなくなる。争いたくないなら理性的に下がれ。心優しく柔和にね。夫が思いやりなく権勢欲にはしる。君も辛いだろう。問題意識もなく、なあ、なあにするだけでは、何の解決策も無く寂しい。おおらかな君が犠牲にならぬことを望むが。信仰無き人間は己を誇示しようとする。自己中心だから人の掲示も強要ととる。人は血の通った生モノ、愛、思いやりなく話は進まず。最後、祈るしかない。人の想いは温度差がある。仕方ないものには白旗を揚げよう。自分を大切に、ストレスにしないよう。重ねて言うが辛いとき、まず祈ろう。心が穏やかになる。雄さん、浅井さんは会の求心力の為、排他性の持続の為、「すべては邪義」という誇張した日蓮の教えと会の在り方との整合性の為、あえてイエスの死を、横死としたのではないのか。つまり目的優先だ。日蓮とて聖書の神の一表現でしかない、イエスと同様に。イエスは言った。「善きものは神しかない」。人間として示現した神には暗さもあるということだ。イエスは厳格と寛容を使い分けしなければならぬこの世は、やはり悪魔が支配する世界であると表明したかったのである。いま、イエスも日蓮も聖霊も、私、神ヨシトの中で存在している。私の正義感を鼓舞し続ける。いつまで続くのか、私は負けない。愛を流布させよう。いま、私はこの世でいちばん聖なるものであると確信する。良心だけでは生きられないこの世、しかし思いやりは死なないことを信じよう。隣人愛をフルに発揮して生きて行かなければ。まずは辛いとき祈ることだ。まず題目があれば本尊、戒壇は付いてくる。題目の意義を思う。幸せを呼ぶ。日蓮の真意。建長5年の大音声、立宗宣言からすべては始まるからである。雄さん、「方便としての浅井さんの言動は許可せよ」と聖書は言う。流布が達成された暁、全体主義的会は即、解散することを望みます。私は静観します。

南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經

第2章

愛すべき姪たちへ。

安全運転で雪道を行け。余りにもひどければ休暇をとること。また遅刻しても叱責ですむから。積雪は、私の神としての信心を失わせるため悪魔が企図したのである。私は生活不安に脅かされ、困窮しても、私の神を信じるだけだ。降雪はかえって私の信心を強固にした。釈尊の時代、少し政治が安定し貧しかった生活から抜け、富の恩恵を受けた人達も現れた。しかし悩みは尽きない。経済的に豊かになる。膨らむ欲望はかえって苦しみを助長することになった。美しき心の因縁は、善きことをもたらす。それは布施の心にある。私の実感である。悪心を持たず、私の言葉を信じなさい。幸せは確実に訪れるから。人に施しなさい。幸せは他との関係性の中にしか生まれないと信じるなら、悪しき、しがらみからは離れ、サイの角のようにひとり歩みなさい。類が類を呼ぶ。隣人への感謝の暮らし、私の幸せな生活風景です。釈尊、イエスは自由、愛、平和を知らせた。彼らの思想は理解されず、イエスは嘲笑された。南無妙法蓮華経、キリストの義、説いても理解者は少ない。神の国、愛の選別が始まります。神の愛、想いがわかる女性でいなさい。心ならずも裏切り、人を傷つけることになっても思いやりを忘れず、生き方でメッセージを送ろう。人は自分の為だけには生きられぬものだ。無情ではなく、神に祈ることが最善だ。神託を仰ぐ。自分の内なる声に素直に。ある高校で一分遅刻したために鉄の引き戸で圧殺される事件があった。電車が遅れた。門のことは知らなかった。一分遅れて殺される。日本の常識はまともか。取りあえず親友は神だ、つまりイエス、誰かに裏切られても落ち込んで泣くな。ただ、できる限りでいいから周りの人に優しくしなさい。私にはポリシーがある、それは悪魔の体制の犠牲にはならぬこと。聖書が言う。それは自覚にあり、たとえ雇用、労働を選択しても金、権力に、取り込まれなければ、神の愛は傷つけられない。たとえ暴言で踏みにじられても。人はひとを傷つけずには生きられない。また想わなければと思うのだが想えない。そんな関係性の中を生きている。明るく素直に温かく、南無妙法蓮華経。母が風邪をひき、酷く咳をしている。顕正会が言う罰か、私への侮辱に対しての罰であるか。除雪、無理をしたのだろう。雪は解ける。私は冬籠り。見栄体裁で自分を飾ることはない。母の除雪、誰かが手助けする。いかに哀れに見えたかということである。私はただの無情の出不精か。積雪と不快な冬季オリンピックは、次のステージへ流転するための胎動と陣痛をもたらした。人を信じられない時があるだろう。だが信じよ。一番危険な事態だからだ。人はうそをつかないと思え。そこからでないと思いやり、安心は生まれぬ。真心さ。神は大きな宿命を背負っている。愛の成就である。もし君たちが真の愛にそむくなら厳しく処断されるだろう。例外は認められない。誰であろうと辛い。イエスは愛し合うことを訴え、一方、偽善者を強く非難した。念仏は皆、悪人。仲良くせよという。だが正しきサンガ（僧加）が大切なのは当然である。和合はそこから生まれる。宗教団体は一人で意思を確立できない依存的人間が大勢だ。真の宗教は森羅万象、関係性から生まれ、信者は慈悲と思いやりが神仏より委ねられ幸せになる。知的障害、秀美は主体性、行動原理をもっている。就労した先輩に去年は遠慮していたが、バレンタインデーのチョコを今年、皆に配った。そして「都合のいいようには使われないぞ」という意思表示をする。そして友情に篤く、優しい。自分の意

第2章

見が通らない。仕方ない。アドバイスが気に入らない。ひとに訊くからいけないのである。俺の話もいい加減に聞け、だが正論だ。そして信じよ。目に見える世界は氷山の一角だ。目に見えない世界を信じ重く感じよ。祈り、感謝、愛、いたわり、思いやり察知する力を身につけよ。幸せになる必須である。親を煩わせてはいけない。たとえ罪人の香りがしても。親孝行を成し先祖に感謝する。幸せは不安が除去され確実に訪れるからね。すべては南無妙法蓮華經。就労が不安でした。南無妙法蓮華經の功德に気がきました。けんかをし、ふて寝の母に年金から生活費を渡しました。不安は消えて行きました。神は美しい心に宿り、確実に幸せへ。私は就労した。あらためて人間関係を思う。意地悪なお婆さん、冷たい中年の禿げ頭。どこにでもいるね。責任も突きつけられる。なす術がない。イエスには枕する所が無い、悪魔の体制のもとでは安堵する所が無い。しかし聖書は今回の就労は大丈夫だということです。何度も。愛を抱き、罪を憎んで人を憎まず。職場。いい人と思えばいい人。悪いやつと思えば悪いやつ。こちらの鏡かもしれないね。仲間入りはハードルがあるけど、飴玉配ったよ。少しゆるくなればなあ。イエスの教えはまず律法の存在から始まる。そしてその堅固な足かせから信仰によって人々を解放した。理屈は必要だったが信仰という愛にはもはや理屈はいらない。仕事で私の本を読む暇がないとママが言った。忙しいときほど必要なのだ。愛を忘れるな。優しさの意味を知らなければいけない。管理という非人間的なシステムに抵抗した部分だけでなく、美しいラブソング。人生への応援歌もある。彼は清らかな愛を信じ、模索していたのだね、尾崎、万歳。生存競争、愛は与えられるものではない。愛は真実、救ってくれるか。愛や誠心で立ち向かわなければ、尾崎は歌い続ける。夢のために、君の道を行け。南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經。辛い時は私を信じてまず祈るのだ。強く言う。真子、何とかなるものさ。体にきつくないのなら。周りの人の癖を見抜け、傷つかず傷つけず。幾多の苦しみを乗り越えたおじちゃんが言う。愛しなさい。責任に振り回されない。自分のやるものに専念し、それ以外は受け付けなくていい。優先順位を付け、力の具合を調整しよう。合意をつくろう。君が後輩、部下に悩むなら、彼等の言い分よく聞こう。ただの上昇志向なら、強権を使うのは致し方ない。爽やかに叱責せよ。自然体で。世にはきつい肉体労働で口に糊している人もいる。年齢とともにさらにきつくなる。君の仕事は商品を愛で包んであげる。それが大切なこと。笑顔になれ。好きなことをしている嬉しさに。幸せを感じよ。励むのだ。人間関係はふとしたことから好転する。皆、殺伐とした職場は嫌だろう。正直に生きよ。明るくて優しい自分を信じよ。職場は清く楽しく。なぜいけない。昔の日本と違いアメリカナイズされて棲み分けされ分業が行われている。仲間の絆も生まれにくい。でもいつも味方でいてくれる人を親類と思いなさい。おじちゃんは入院中思った。人の便秘のことまでを四六時中心配はしてられない。役目の人がいる。自分に芳しくなければ毅然と引け。人望と犠牲は紙一重。風雪が人を磨くのは確実だ。それを愛に変えてきた君を私は知っている。だからいつも素直に温かく話せばいいのだ。皆、耳を傾けるよ。誇りを忘れず当たれ。湿疹は善きこと神の祝福だ。神の国へ入るため。純潔を大事にして乙女であれ。永遠の命が待っている。真子、君は素敵で女性だ。自信を持ちなさい。おじちゃんにはたくさんの恋人がいます。美しい関係です。

第2章

恋愛にキマリはありません。特に年齢は全く関係ないことを伝えます。もっと視野を広げて素直に。愛や夢のための自立ならおじちゃんは応援するよ。大切なのは温かく生きることなのだ。そして善きことが付いてくる。心に愛を抱け。人に好かれようとは思わぬこと。ただ自分が正しいと信じる道を取りあえずは歩くのだ。君が掻き分けた道は長く広い街道になるだろう。それが愛である。真子、千華、時に、組織は人を悪感情で引き裂き殺伐とした無情の世界を繰り広げさせる。君たちは愛する人たちと我慢を捨て逃げだしなさい。それも人生経験だ。幸せにね。善意を評価させ、また周知させる。改革につながる。逆もある、悪役を演じ皆の善意を鼓舞する。孤独で結構しんどい。やはり私は勧めない。犠牲のにおいがするからだ。真っ直ぐ生きよ。神仏でもない、人間の言うことは持論の押しつけが大半だ。その中で得になることだけ耳に入れ、自分を見失わず、侮辱と共に聞き流せ。そいつは未熟な人間である。人は正しいと思って考えを押し付けてくる。けして自分を捨てず、違うという感覚を大切に育てよう。まあ、とりあえず合わせる事が無難と思えばいい。まず愛する人を見つけることだ。思いやりの分かる人。心の温かい人。上品でまじめな人。その交際の果てに結婚がある。道順を誤るな。焦らなくていい。真子、今は解からないだろうが、湿疹は将来に向けて、必ず善きことだ。男の選別がなされる。上品に愛を抱いて歩き続けなさい。幸せは、感謝で姿を現すよ。協調性とひとは言う。だが正義を信じるとき和合を破らねばならぬこともある。その正義は必然なのか、それが確かに大事である。自分を信じ抜けるか、後悔しないか。職場が陰悪なところだと自覚したとき素直に己に従うしかない。負けず、堂々と正義に生きよ。滅多に殺されはしない。でも逃げだしなさい。神仏の罰の方を恐れよ。嫉妬、侮辱に遭うとき相手の美しい心の琴線に訴えかけよう。優しさと温かさを取り戻してもらうため。物事を固定することは自由、寛容から離れるように見える。また寛容から偽りを許すこともある。ただ優しく南無妙法蓮華経。真の、自律、自由が見つかる。好意は自然な気持ちを大事にしなさい。無理はどこかでひずみが来る。精神疾患の温床ともなる。素直が一番、悪しき欲望からは離れ自然に自分らしく愛を抱きなさい。真子、湿疹は寛容でない卑劣で慈悲心もない男たちから、聖霊がお前を守っているのだ。堂々と生きよ。思いやりさえ忘れねば、誠実な王子様は確実に現れる。千華、お前とはもうかれこれ三年は逢っていない。肉親の情にはちゃんと微笑みで返すのだ。それが愛に報いることだ。私に話すのだ。どんなくだらぬ話でもいいから。いろいろな看護師がいるだろう。怠惰な奴、いじわるな先輩、要領よくふるまうもの。でも利用者は忘れない。それは笑顔と優しい言葉の人だよ。上品さが自然と身に付くとき、君たちは自分だけの花を咲かすだろう。怒り焦りは暗い気持ちに陥らせ、自己嫌悪に。平常心と微笑みを忘れぬよう。言い忘れていたがおじちゃんは就労したクリーニング店を二日で辞めていた。やはり神は雇用されてはいけないのか。人の傘下には入れないのかも。商売人は腹黒い。当然なのだ。どうあろうとサービスを提供する相手を獲得しなければいけない。競争にルールはない。金があれば幸せになれると信じている人もいる。ひとの人生を思いやりなく批判してはいけない。難しいことではない。優しく想像力を働かせ同情することだ。普通の人生などない。あるのは人生だけだ。他の人たちが安楽とするものを私は苦しみとする。また苦しみを安

第2章

楽とする。無知なる人々は世の富と名誉に価値を置き、見えない法を知らず、迷いに入るのだ。真子、聖書の促しだ。人に相対するとき自分がどんな状況にあってもできるだけ優しくありなさい。私だから言えること。幸せを逃さぬよう。場を温かく。千華、久しぶりに会って嬉しかった。二人とも上品ないでたちで嬉しかった。この席をセッティングしてくれた、ママ。送迎してくれたパパにも感謝。君も感謝してくれるよね。真子、心配に少しなった。怒り焦りは絶対克服しなさい。有名デザイナーになっても幸せはない。愛と安らぎがないからだ。寛容と自制力を身に付けよ。嫉妬はご法度だ。自分のことに注目させ、他人の業績、失敗をあげつらう。そんな未熟な人は世の価値観に縛られている。結局、争いの中、幸せにはなれないのさ。平和と愛を求めよ。真子、上品さから少しだけ離れて、明るさを前面に打ち出せ。人を面と向かって批判するのは、まだまだ未熟なせいだと自覚せよ。いつでも思いやりを忘れてはいけないよ。上品であることはけして男を寄せるためではない。モードを通して簡素な生き方を現し、涼やかな心を、周知させるためだ。寛容と微笑み、損をしても幸せを運ぶだろう。民主主義とは、我欲から生まれ、利己主義に担保され、制限ある自由を楽しむ。その図式で金儲けは唯一目的となる。求める人を世間は大人と呼ぶのである。君のことは神がちゃんと知っている。議論はしてはいけない。思いやりにかなうものはない。誰かが、見ている。その人を大切にしようね。幸せが来る。真子、夢、自由に向けての独立は応援する。しかしくれぐれも不謹慎な異性交遊は慎むのだ。大人だからこそ心掛けよ。無くすもの、信用が一番に大きいからだ。ある芸人の弟は自殺した。だがある芸人の兄はテレビ画面に登場し成功した。芸人をはじめ表現者。これはすべての人に言えるかもしれない。恥ずかしがらず素直に自己アピールすることは本当に大切なことなのだ。誤解、偏見を避ける意味でも。妹へ、お疲れ様。真子と千華にはメッセージはもう送りません。最後にアドバイス。積極的に生きなければ幸せは掴めない。生活に埋没して心を汚してはいけない。久しぶり、真子、千華、自分だけが辛く苦しい目にあっているとは絶対思わないこと。人は皆、傷ついている。得心したとき笑顔を振りまきなさい。私ほどの幸せ者はいないとね。自己執着は世間知らずと関係がある。知的、精神、身体障害者は特別不運であったわけではなく、失望、絶望を経験した、日常にある普通の風景であったということです。君達が迷惑するのでメールを控えるようにとおふくろから聞いた。真偽のほどは解からず確かめたいのだが大筋は外れていないだろう。しかし人は自分をアピールすることが断然、大切なのだ。真子、人間万事塞翁が馬。何がよかったかは死ぬまでわからない。焦りは禁物、幸せは君の後姿を見ている。忘れないでね。必ず春は来るからね。千華、とにかく自分を大切にすること。そんな姿を利用者は確認してわが身を大切にすることを学ぶ。それが最良の看護サービスである。真子、心配するな。湿疹は乙女として神の国へ入るまでの神の配慮、計らいである。優しい気持ちを忘れずに生きていなさい。来る世まで。君は救われている。地獄を経験して人の真実の思いやりが解かる。凌辱よりガードされ愛と誠を知るのがいい。そして先にあるかもしれない、結婚という呪縛から離れた幸せは、神の子へと通ずる、神の御使いたれ。千華、女にはお産の不安が来たときあるが、子を生んでしまえば、もはや、苦しみは覚えていない。ひとりの人がこの世に生まれたという喜びがあるためであ

第2章

る。千華、世は、利、つまり金で動いているかのように悪魔が仕組んだ資本主義である。ケアマネのママに尋ねなさい。雨の日の傘のように強く愛をもって世の人の幸福の為に生きなさい。君ならやれるはずだ。まず笑顔、挨拶から始まるよ。真子、千華、恋愛で一番大切なのは忍耐だ。次から次へと悲恋、艱難が訪れるかもしれない。時宜を待て、必ず美しい恋は実る。私は今、愛と思いやりの中、幸せを実感している。理想を持って、妥協するな。その後、自然の流れ、価値観の変化により真実の愛は見つかる。ただ誠実に思いやりを向けよ。恋は成就される。心が通い合う。人生において失望に負け、絶望に陥るな。渴望があるから感じるものだからだ。

聖書は、桜井よし子是对決的でよろしくないが、神の国へと向かう姿勢と道筋は評価しても良いと示した。皇太子批判。極めて遺憾だが、皇室に対して盲信的、絶対的な崇拜をあえて否定している。そこには彼女自身の、頂点としての皇室へのイメージが先行している。神道の流れを上り、純粹に聖書の神に辿りつくだろうか。大本の愛がある。皇室を遡れば私に行きつく。そして折伏という勧誘に積極的な顕正会。日蓮を頂き、南無妙法蓮華經が流布され、仏国土が誕生するという。明かそう。そこには久遠元初、聖書の神、日蓮（私）がいる。どちらも神の王国に繋がっていく。山頂は同じである。私の王国は威圧、威嚇、強要、恐怖、窮乏、貧困、病氣、騒動のない、優しい世界である。それがすべての真実である。

雄さん、日蓮は大本の確かな神、仏。天孫降臨、皇室も遡れば聖書の神へ至る。神道の歴史を遡った究極に存在した、日蓮、イエス、神、義人（ヨシト）の愛による、王国は造られる。顕正会には、当初の目的を達成し、約束された会の解散を願う。永遠の命の到来だ。現れる神の国で、私は一匹の羊でよい。桜井や浅井が領袖の醜い権力集団の横行は、絶対に見たくはない。目的が不純であってはいけない。永遠に平和な世でなければならない。南無妙法蓮華經。神を愛せ、隣人を愛せ、御名、即ち愛が広がり、御国が参りますよう。

第3章

(秀美と冬美は姉妹です。軽い知的障害があります。所属する就労支援施設。籍はおなじですが別々の場所で訓練しています。私は姉である秀美とカレーハウスにいます。いきさつから、妹の冬美の携帯番号を知ります。秀美は私に番号を教えません。秀美への伝言はSMSで冬美に依頼することになります。)

秀美ちゃん、ごめんよ。私はこの雪には立ち向かえない。悪魔からの届け物。冬籠もりが一番です。明日は明日の雪が降る。また晴れるさ、心もね。秀美ちゃん、仕事負担になってない。恋人だから、大目に見てね。天により、じきに積雪の苦しみは太陽と雨によって解放される。ごめんね。私には障害がある。モチベーションが持続しない。死んだ人に動けとは言えないものね。でもいろんな人に迷惑をかけているのは事実だ。本当に申し訳なく思う。でも君たちも、奴隷ではない、自分のペースで。秀美ちゃん、冬美ちゃん、イエスの十字架の死の意味がわかりますか。難しいですか。実は解った人に結婚を申し込もうと思ったんだ、特に秀美ちゃんに。秀美ちゃん解りませんか、神との約束を破った人間の罪。贖罪したイエスの死。皆を罰から救ってくれたのだよ。楽しく生きていこう。冬美ちゃんも。難しい男の戯言だと許されよ。いや違う、冗談ではないのだ。また二人、ゆっくり考えてみてね。風邪かな、少し辛い。姉妹二人、手を携えて孤独に立ち向かえ、強い絆で。俺なら大丈夫。君たちに寂しい想いがあるのではと心配になったのだよ。ずいぶん、勝手な話ですけど、カレーハウスやめて就労することにしました。長く休み、気がねで出仕しづらくなりました。秀美ちゃんにまた負担をかけることになり心苦しいです。冬美ちゃんからよろしくお伝えください。報告まで。秀美ちゃん、またカレー食べに来ます。バレンタインデーのお返しは必ずします。本当に。メール、冬美ちゃんありがとう。秀美ちゃんごめんね。二人とも美しい心を忘れないでね。幸福が向こうから歩いてくるよ。友を大切に。ずっと幸せを祈ります。クリーニング店、二日で辞めました。冬美ちゃん、秀美ちゃん元気ですか。今日も一日お疲れ様。やはり一般就労は難しい。俺は年配の障害者だ。カレーハウスに戻れるかは明日決まる。とりあえずエールを送ってね。恋人たちよ。愛しています。お休みなさい。冬美ちゃん復帰できそうです。温かくしてお休みね、まだまだ寒いから。君たちは純粹だから気をつけて対応しないと。管理という非人間的システムに抵抗した部分だけではなく、ラブソングが本当に美しい。人生の応援歌もあるし、彼は清らかな愛を信じ模索していたのだねえ。尾崎豊、万歳。少しカレーハウスに戻ることが気になります。秀美ちゃんによろしくとお伝えください。ありがとう。完ぺきにしようとか、なにか大きな期待をするからいけないのだ。皆、応援してくれ、かばってくれる。少しほっとしました。なんとかなるさ、9時出勤、少し早目の起床。体調整えて大丈夫さ、秀美ちゃん応援ありがとう。二人とも結婚したいくらい嬉しいよ。いや本当にありがとう。お菓飲んで、横になります。名残惜しいけどまたね、お休み。不安も本当に和らいだ。ありがとう。朝方忙しいのに熱いメール、本当にありがとう。持つべきものは友達、いや恋人ですね。冬美ちゃんもマイペース崩さず愉しく。なるべく未来へ向かって不安を持たず。尾崎から力もらって。秀美ちゃんはまだ帰宅されていないか。私の思想、神託、世間的には理解は難しいかも。けど、自然体でいます。私の自然体とは聖霊の宮です。冬美ちゃん、叱咤激励ありがとう。そう

第3章

だね、俺は俺。強く生きなきゃ。よくないのは期待に応えなきゃと思うことだ。原因がわかりました。パソコンのやり過ぎでした。辛い部分があると気が滅入りますね。目薬さして楽になりました。お薬というのはありがたいものですね。御心配おかけしました。どうも。冬美ちゃんは心が細やかで優しいから傷つけるような表現はしてはいけないと聖霊に叱られます。不注意で傷つけたなら許してね。冬美ちゃん、怒っている。伝書鳩みたいに使って。ごめんね。明日もゆっくり。秀美ちゃん明日、頑張っってね。二人とも愛しています。秀美ちゃん忙しかったですか。ゆっくり休んでください。世のいたいけな女性みんなの恋人でありたい。神だからね。それは、一般で言うところの恋人より重くて清い関係。とにかく冬美ちゃんは、アイドル。特別だから早く元気になって皆に御尊顔を見せてあげてください。愛しているよ。辛かったら素直に無理をせずにね、温かく私は祈ります。冬美ちゃん、笑顔マークないと淋しいけど、話したくない気持ちが伝わってきます。また明日、ありがとう。おやすみなさい、優しくて素晴らしき女性よ。冬美ちゃん、人に好かれようなどと思わなくていい。人を傷つけることになっても自分を打ち出せ。自己犠牲はだめ。強く。皆、認めてくれるよ。まず善き心中を伝えよ。秀美ちゃんはいつも実行しているよ。互いに傷つけあったり、寛容に受けたり流したり、飴玉一つで変化。引きずらない。祈る。嫌なことは忘れられるよ。本当。秀美ちゃんは自分を大事にすることを知っている。冬美ちゃん自然体で自由に生きることを大切にしよう。嫌われても私がいるから大丈夫。愛が大事。優しい無垢な冬美ちゃんの人柄が好きです。くれぐれも無理をせず仕事してね。ストレスためず。秀美ちゃんのようにマリエの6階で休憩。息抜きも必要だよ。少し説教じみたので終りにします。おやすみなさい。元気ですか。秀美ちゃんと水曜、仕事の後カラオケに行く約束をしました。いつか冬美ちゃんとも行きたいです。後から確約の、メールをします。よろしく。今日は少し深い話を秀美ちゃんとしました。私が二人を恋人と表現するわけ。そこには神としての温かい思いやりがあります。君達はそれを理解し感じるができると思うからです。私は障害者として互いを見つめ合い、一部の健常者の持つ優劣を競い、一番を取るという価値観より離れ、ともに博愛を目指し、みんなで幸せになりたいのです。皆、特別なオンリーワン。秀美ちゃんにカラオケ行くのを何度も確かめる、俺が心配性なのだね。いくら神である私でも不信が生まれるときはある。秀美ちゃんの優しさと誠実さを信じればいいだけだ。疑ってごめん秀美ちゃん、カラオケ楽しもう。これからもわしはあらためて愛を振りまいて生きるぞ。ここに誓う。皆の幸福、永遠の命のため。秀美ちゃん、車を駐車場に入れて、地鉄の駅まで歩いて送ってあげるべきだったね。ごめん、失敗だった。今日はカラオケありがとう。楽しかったです。僕は君たちを恋人と呼べる、それが大事だと思うのだ。そこに清らかな愛が存在する。秀美の自由を求める高潔な心を知りました。でもくれぐれも自分自身を大切に。悪い男はいるからねえ。自由とは自律し寂しさから離れ、そこに立ちこむ爽やかで暖かい風を感じることです。この世は悪意に満ちている。来る世、心が美しいものは神の御使いとなり、本物の自由を謳歌することになる。二人とももうすぐだ。愛を大切に。秀美も、冬美も自然にそのままで素晴らしいということさ。それでいい。いかなる時も。自分を信じて。いちばん悲しいのは自分を信じてあげられないこと。自分は自分。オ

第3章

リジナル。人格改造なんかには負けるな。われらは正しい。優しい無垢な心、万歳。それでいい、それがいい。勝負にこだわる世間がおかしいのだ。君たちは怒り焦りが嫌いだっただね。秀美ちゃんはまだ帰宅してないの。冬美ちゃん少し心配ですね。何をしたいのだろう。何か出逢いを待っているのでは。寂しくなるのはわかるけど。真の意味で自分自身を大切にしないと。まずは正しく生活し運命を信じてみる。秀美、傷ついたらなぜか考えて。悪意を自覚していない、愚かな人はたくさんいる。無理しない寛容を目指そう。冬美も秀美も結婚しなくてもいいではないか。俺も一生独身。そのうちもっと良いことがある。神を信じて。冬美、秀美、愛している。これからはずっと。神の方へ向かう限り平和は続く、私は神イエス、一人に全力投球、皆に全力投球、あなた方は神を愛する、そして善良なる隣人を愛す。冬美よかったね、南無妙法蓮華經にたどりついて。ただ顕正会の浅井さんは仏のお手伝いをしているにすぎない、仏ではない。誤ってはだめだ。私としてはそうみるしかない。神、イエス、日蓮である私に聞き従いなさい。他を拠り所としてはならず。私は絶対善。南無妙法蓮華經。秀美ちゃんに尋ねて下さい、私の善良さを。信じて下さい。日曜日、策略をめぐらせ、待ち伏せ、私の勧誘を主導した顕正会のもうひとかた、真実を求める高潔で賢明な女性なら、成仏のための、神の言葉を聞きたいと願うはずだ。混沌としている先に私には真の仏が見える。永遠の命とともに。冬美ちゃんが会に惹かれた理由もわかる。新鮮だったのだね。確かに世間のみんなは自分勝手だ。でも一番怖いのは正しいことと共に間違っただけのこと押し付ける人達なのだ。冬美ちゃん、これからは誰に対しても今回みたいなペテンにかけてはいけませんよ。あなたの心の美しさを信じたい。心の底から思います。冬美、秀美、今日一日幸せに過ごせたか。秀美に会えて本当に良かった。私が多情で傷つけたならごめんよ。でもこれが俺の優しさなのだ。正直な話。この世では弱者はいいように扱われる。でも強者になって人を踏み台にもできない。君たちはどう思う。秀美、お土産ですか、心のこもったものなら何でも感謝します。ありがとう。明日、秀美ちゃんを家に招待したい。どうですか。伝えてほしい。美しき心の持ち主よ。私の欲望ではなく。あなた方、特に愛をくれる秀美ちゃんの幸せの為です。すべては秀美ちゃん次第です。暗闇に光を求めるならば。冬美ちゃんココスでお会いした、顕正会の女性と話しできませんか。私の携帯番号お伝えください。よろしく。宗教観について語り合いたい。実は私も名ばかりの会員です。しかし排他的ではなく、イエスの教えも知ってほしいのです。一人の女性としても興味を抱いたのかもしれない。いけませんか。恋人たちよ。神は博愛主義者。一人だけというわけにはいかないのです。このことは対象になる女性のためなのです。秀美ちゃんには話したよね。君たちに依頼するのは許されないことなのかなあ。仲間の輪を広げよう。南無妙法蓮華經。合掌。神の心持を知って御理解下さい。嫉妬は仏法の敵ですよ、罰に繋がる。美しき心を忘れぬよう。冬美ちゃん彼女から会の新聞、内容の論拠、出处、信ぴょう性を聞きたい。私の南無妙法蓮華經の意味を知ってほしい。冬美ちゃんの親切に期待します。よろしく彼女に。

(秀美から、スマホの番号をやっと教えてもらった。今までは冬美を通してだったけど今度は直接話せるようになった。)

秀美ちゃん、帰宅されましたか。お疲れ様です。君がいるのと、いないのでは何か大きく

第3章

違います。いつもチェックありがとうございます。少し腹が立つけど。自我との闘い、修行だと思っています。ではお休みなさい。(笑) 今、CDの、整理していたら、冬美ちゃんのメッセージが記してある、メモ用紙が出てきました。渡されたとき本当にうれしかったなあ。秀美さんありがとうございます。親切忘れない。

(新人の軽い心に障害のある、無口な弓恵にメール友達に、と話しかけたら戸惑いながらもすぐに番号を教えてくれた)

弓恵ちゃん。お疲れ様、君の笑顔は素敵です。ポツポツ増えていくといいね。大丈夫。仲間を大切にね。解かっているか。そうだね。おやすみなさい。(笑) 今日もうありがとう、尾崎豊の「太陽の破片」を聴いています。スマホでどうぞ。感想、待っている。自由、平和、清らかな愛。壮大だけど、周りを見渡せば、本当に大切なもの。君が美しい心で暗闇に光を求めるとき神は応えるだろう。弓恵ちゃん何回も聴いてごらん。歌詞を噛み締めるように聴くと尾崎豊からの愛のメッセージが理解できるよ。了解してくれる。ありがとう尾崎も喜ぶよ。明日も仕事だね。無事過ごせるよう祈っています。名残惜しいけど、お休みなさい。明日、お休み あっ、そうか、ごめん、ごめん。では休日、ゆっくり過ごしてくださいね。ありがとう。お休みなさい。おはよう。まだベッドの上なら、ごめん。君は絶望に至るほどの失望に陥ったことがあるか。誠実に生きる時尾崎は必ず力をくれる。真実の清らかな愛が存在し、太陽の破片、心からの嬉し涙がこぼれるだろう。イエスを愛し、彼への信仰に生きる、美しい心を持つ女性たちは、婚姻という牢獄から逃れ、自由な神の御使いとして永遠の命を生きる。時はすぐそこに来ている。尾崎のアイラブユーは知っているね。愛がしらけてしまう悲しい歌とは。金、労働、扶養や、病気、不安。思惑をぶつけてくる眷族。いさかい、喧嘩が生まれる。若い愛し合う二人、生きていけない現実、解かるね。元気かい、晩御飯、何食べた。(返事がこない) 誰も傷つけたりはしないよ。端的に言えば博愛主義者。だから心配しないで。すべて君の笑顔のためさ。(返事がこない) 変人に思われたかもしれないけど、怖くないからね。私は生活の中、愛を追究しているだけ。賢い君なら分かるはず。(返事がこない)。着た。返信ありがとうございます。拒絶されたかと思った。俺は気が小さいねえ。君をもっと信じないとね。ありがとう。(スマホが手元になかった)。どうもネガティブに取る癖があって、早い話、性格が暗いのもかもしれない。今までに傷つきすぎたのかも。お休みなさい(笑) 弓恵ちゃん、復活するには自分だけでなく仲間が必要だ。上を見るのもよい。でも知的障害のある正美や秀美の悲しみを知ることも大事だよ。そこだね。愛を感じ表現してみよう。まず彼女らに話しかけることから、それでいい。少しずつで。彼女たちは本当に優しいよ。勿論、君も。返事ありがとうね。21時になりました。素直な弓恵ちゃんに、お休みなさい。ちゃん付けでいいかな?サンキューグッドナイト(笑) 正美と買い物に行く途中、私なりに弓恵ちゃんへの手助けを願いました。正美は先輩としての責任感から「わかっている」と。頼もしく感じました。心配せずマイペースで。おやすみ。弓恵ちゃん読書は悪くない。でも場所柄をわきまえ、まず仲間との信頼の構築と敬意、それは会話から始まる。新境地のため本は傍らに置いておこうか。尚、ゲームに没頭するより読書の方が意識は高いのは間違いないが。もしかして君は時間潰しだけを必要とし、向上心を封印

第3章

した。それでもいい。それも生き方だ。でもスキルアップを目指すなら親睦を深め、協調性が大事。孤立は避けよう。私からの圧力ではないよ。B型施設だし、また私に謝ることはない。ただこれから先、辛い就労を目指すなら最小限のルールはわきまえないと。林さんの訓練はお金云々では得られぬ価値がある。いろいろ送ったけど気を悪くしたらごめんなさい。ただ仲間と親近感持って愉しくやって欲しいだけなのだ。ただ君の幸せを願って。お節介な光源氏なのだ。「23時、以降のメールはやめて下さい」弓恵ちゃんの自己主張、嬉しい。君も強いものを持っているのだね。でも私の想いは届いたみたいだね。ありがとう。これから気をつけるよ。ありがとうね。寛容な君に甘えて語りかけます。実は私のウェブサイトがあり、よかったらURLをお知らせしたい。一生懸命作りました。一見の価値はありますよ。決心するまで、思慮されましたね。心配いりません。私からの感想めいたものは求めませんから。気が向いたら忌憚なくお言葉お願いします。水曜日にお知らせします。あすURL記した紙片お渡ししたいと思います。不都合はありませんか。老婆心ながら。ありがとう。ちょっと確認したかったもので。君は思った通り強い意思を持った、素晴らしい女性だった。重ねてありがとう。常とう句です。愛しています。お休みなさいね。強くて優しい弓恵ちゃん。楽しみに、期待が外れたらご勘弁のほどを。お疲れ様、URLうまくいきましたか。オモシロ、オカシからでも入っていただけるとありがたいです。カルトの勧誘ではなく私の人生論だと思ってください。けして害になるものではありません。すべてはこの縁を弓恵ちゃんがどう受け取るかにかかっています。無理強いするのではなく、神の愛を知っていただきたいだけです。君が幸せでいてほしいから。私の書きもの、目を通した題名だけ、お聞かせ下さると有難いです。あれを読んだのかと嬉しくなるからです。今日はありがとう。お休みなさい。自分の使ったグラス、洗い場にいる人に黙っておいて行ったことを注意したね。人には心というものがある。老若男女みんな。そのことをできるだけ胸に落ちつけて下さいね。応援しているから。お休みなさい。(挨拶が返ってきた。) ありがとう。冗談はあまり好きじゃないかな。悪気はありませんから気分を壊したならお許し下さい。許してくれると嬉しいです。「愛しあっているからね」なんて皆の前で言ったけど友情以上の感情をもっていただきたい願望があるのかもしれない。答えのない清らかな愛が見えてくるかもしれないから。確かに私のサイトは真由子さんはじめいろいろな女性が出てくる。でも悪感情を起さず、素直に目を通す時。温かい愛、想いの宝庫だと気づくだろう。私はそれを信じているのだ。応援するよ。実は大人の上限は限りない青天井。自分に固執しないでまた負けないで愛をもって他に接しよう。人は己を映す鏡だよ。本当にお休みなさい。こんなおやじのメール受けてくれて本当にありがとう。アレルギーかもしれないけど興味ないと言っていた宗教。心境に変化はありましたか。愛、思いやりなど。(返事がない) 難しく考え過ぎてはいないかい。(返事はない) お休みなさい。先の困惑させるようなメールでごめん。弓恵ちゃん笑顔は本当に素敵だね。上手に聞こえたら仲良くしたいということだよ。素敵だよ。真実。大丈夫。仲良くとは言っても変に取らないでね。(笑) じゃあ21時になったのでお休みなさい。今、ある御寺の寝所にいます。弓恵ちゃんの平和を祈ります。まずは特別に弓恵ちゃんのために祈ろう。これでいいかい。今夜は眠れそうにない。弓

第3章

恵ちゃん、君の幸せをしっかりと心の中で祈っています。いつも、どこでも。神に愛されたかったら嫉妬心は克服せよ。そして愛を抱き周りに振りまけ。その時君は幸せになっている。携帯番号二つ返事で教えてくれて本当にうれしかった。これからも愛し応援し続けるからよろしく。私が不実に思えるかい。神にはもはや悪しき欲望はないのだ。そして皆に真実の博愛、隣人愛が生まれる。理解力は神からもたらされる。周りを見、知り、美しい心を思いやりと共に忘れないこと。少し損してもね。天が見ている。君はやはり利発だ。少し蛇足だが、出世にも金儲けにも縁がないが確実に幸せになる方法がある。いつも少し損したことを喜ぶ。自己執着より離れる。君からありがとうって返ってきたら嬉しいです。自分の心語りをして。再度見つめなおす。神の国、永遠の命への研修期間中と思って取り組んでくれるのを祈っている。まずは「優しい」が条件。本当にお休みなさい。お疲れ様です。にわかには私が神とは信じられないだろう。しかし心で悟り感じてほしい。君の幸せのために。お休みなさい。まあ、ぼちぼちやっていこうか。リラックス。丁寧に暑い中、外掃除やっていたね。君のまじめさが伝わってきたよ。ではお休みなさい。欲望を少なくすると私のことがよく解かるよ。損することの大切さ。むさばらない。施す。怒り、愚痴より離れる方法です。楽に生きられる。宗教もいいものでしょう。周囲、特に人をなるべく傷つけず小さなことに感謝して喜びに変えていく。本物の宗教の描く真実の幸せの在り方なのだけれど。少し考えてくれると嬉しいです。言い足りなかった。いつも君の笑顔に接していたい。笑いのタネは目の前に落ちているものだ。それだけ、ごめん、ありがとう。本当にお休みなさい。

(笑) 熱い夜、元気でね。聖句 「私に繋がっていなさい。枝が木に繋がってなければ実はない。私が愛したようにあなた方は愛し合わなければならない。」 明日よろしく、お休みなさい。(明日は公休です。お休みなさい) 最後に久しぶりの笑顔マークが付いていた。嬉しかった。毎日、暑くて大変だけど夏バテしないように気をつけようね。君の笑顔、君のまじめさ、皆、力づけられているから心配はいらない。お休みなさい。(笑) また明日。今日は正美に「弓恵ちゃんを口説く方法を教えてくれ」なんて変な冗談を言ってごめんね。ただ場を明るく楽しいものにしたかった。それだけです。傷つけたのなら本当にごめん。誰にも、いつもこうです。お休み。(笑) ハートマーク。明日は初めての日曜出勤だね。忙しくない方がいいよね。暑くなりそうだから出足悪いかも。大丈夫さ、祈っているから。お休みなさい。(笑) (返事がない) 私にとって大事なものは店の売り上げではなく、弓恵ちゃんをはじめ利用者の仲間たちだ。人間とは、素直とは、善とは、そういうものだと思う。また忙しい日もある。(ありがとうございますと返ってきた。) 尾崎の「失くした1/2」スマホで聴くといい。管理、競争社会。付き合う必要はない。自分を特別と、また目の前の人も特別と見よう。敬意が生まれ利己主義は去る。お疲れ様、弓恵ちゃんほど賢くなくても誰にも思いがある。寺山修司は言った。書を捨てよ、町に出よう。開放的になれたらいいよねえ。孤独を踏まえ。お休み。弓恵ちゃんは誠実でやや硬い、まじめさがダイレクトに伝わってくる。君がワザと怠惰に走るとは思えない。あえて上から目線です。お休みなさい。私の友人が精神科閉鎖病棟で人生相談と銘打った「幸せは喜怒哀楽を素直に表しユーモアを仲間と共有することだ」と語る。夜遅くにごめん。すべては特殊と独自性だから冷静沈着にも喜びは

第3章

あるかも。取りあえず君は上品であることは確かだ。素晴らしい美德だ。そう、君に明日会える。お休みなさい。「若者たちが林さんを通し、その仕事へ向かう姿勢から自制、忍耐を学び、また社会への献身を体得するよう願って止みません。すべては自分のために。そして愛のため。」店長の林さんに送ったメールです。孤独を生きるのは人の宿命かもしれないが、孤独に生きてはいけない。独りぼっち感じてても真実は訪れる。愛す、すべて。私は神である。そうしか私には答えようがない。それでは笑顔でお休みなさい。(笑) 23時まで大丈夫と聞いた時、まるで暗闇の中の灯台のように思えた。少しずつ、大人になる。俺は善にて関与した、忘れないで。関係性大切。お休みなさい。お疲れ様です。笑ってください。応接室にて扇風機で我慢していたのに二階の自室はエアコンがつきっぱなしになっていました。ケチに代償がつかしました。お休みなさい。(笑) 尾崎の「卒業」よかったですでしょう。自分は自分でいいのだよ。でも少しだけ前に出ることを習慣づけてみよう。君は可愛いから素敵な彼氏が必ずできるから。その時、喜びをもって私のメールは終了します。聖書の促しにより送ります。私が来たのは盲人を見えるようにするためです。けして盲人なのに見えると言いきらぬように。大切なのは愛。お休みなさい。(笑) 皆を悪から立ち変えさせるため神はイエスをお遣わしになった。彼を信じ美しい心をもつように。永遠の命が待っている。君は神に選ばれたのだ。弓恵ちゃん、あす公休だね。ゆっくり。少し早いけど日曜日頑張ってるね。明るく素直に暖かく私のキャッチコピーだ。ではお休みなさい。無言か。ただ私が思うのは君らしく生きてほしい。悲しみにくれないように。そこには必ず孤独がある。できるだけ悪意に出会わないでほしいということです。解かってくれたかな、ありがとう。人は悪徳に陥るとき悪魔に翻弄される。愚痴、怒りを生みだし地獄を地上に現出させる。信仰と仲間を大事にし、愛を切り裂くものを遠ざけよう。信仰というのは目に見えない愛の世界を信じることです。けして団体などの活動ではありません。各個人の精神世界によって行われる平和への祈念にあります。信仰は得体のしれないものではありません。薬の副作用で就寝時に打ったメールを翌朝、覚えていません。不気味に思われたならすいません。聖句「私は公然と言う。私たちは罪の奴隷ではない。子は家を離れない」。つまり神の子は悪しき欲望の支配下におかれず、また義より離れない。正しくすべからく自由は享受されなければならない。お休みなさい。イエスによって罪はことごとく取り払われる。思い切り、愛をもって自由に生きよ。それでいい。本当の罪人とは愛をもっていない人を言うのだよ。神はそういう人の言葉は聞かない。多くのことに心を配って思い煩っていないかい。大切なのは愛だけ。自由と愛は矛盾しない。愛は縛るものではない。自由を保障する愛、愛する自由。博愛である。そして神を多く愛したもののほど罪は多く許されるのだ。弓恵ちゃん、君は接客より検査関係の仕事が向いていると思う。自分を見つめて明日へ向かえ。余計なことだと思う。賢い君は気づくはずだ。一番大切なのは自分である。それでいい。君は素敵な女性だ。迫りくる悪魔に負けないで幸せになってほしい。それには着るより脱ぐこと、悪感情から離れる。そして愛、熱意。きっと待っている人がいる。お休みなさい。なんでメールを贈る、神だから。あえて言う、このままでは知的障害を持つ子たちと同じ扱いを受けるよ。ちゃんと声はあげないと。せつかくの理解力が泣くよ。周りに働きかけること重要

第3章

だよ。了解したら笑顔マークおくれ。 けして差別を助長しているわけではない。因縁からくる事実。彼女らは罪深い。淋しいが彼女たちへ素直に接するとき傷つくことが多々ある。神の心根も愛を外すと冷たく見えるかもしれない。それは最早、神ではない。そして世の中には自由民主主義にかまけて悪とされることがたくさんある。愛を大切にせよ。独善的主張の罪を私はあえて犯す。偽善者になってはいけない。神の判断には従わなくてはならない。君を縛りつけるサタンから解放するため。「娘よ、汝の病は癒された。立って歩きなさい。ほらみてごらん。これが君の歩む道」。私は知的障害者を殺せとは言っていない。罪深いと言っている。今、大事なのは君だ、道徳に縛られ倫理観を狭めてはいけない。そして善とは聖なる闘いから逃げないということだ。本当にお休みなさい。 私は知的障害者を愛するなどとは言わない。むしろ同胞だ。ただ彼らは信義の意識が薄く処世に身を浸すだけの感覚だ。自らの規制に縛られ苦しむ君とは違う。 寂しいが。妬み、そねみをもった時点でひとは地獄に落ちる。また金、競争など世の価値観を押し付けられてはいけない。神の判断だけが絶対である。それは自分の愛で考察せよ。 吉山君に対し冷たく感じたかも。彼は先達、同輩に同胞意識をもたず、私は作画的に気付きを待っていました。皆、信仰が正義とうまく共存できればと思います。厳格と寛容ですね。 弓恵ちゃん猫飼うといいよ。慈愛ってやつが実感できる。今、苦しむ人たち、すべては自分から始まる。不条理は実はないのだ。因果応報。殺されないでいられる日本、凄いいことだ。幾多の人たちの愛と尽力のおかげだ。生きていく、ためらっている場合じゃない。思いやりを強気で示しなさい。お休みなさい。 自分なりに喜怒哀楽を自然に大事にして、いつも穏やかな優しさをもっていられる空間を大切にしてください。幸せはそこにある。仕事は自分次第、天国も地獄も。 もう30も若ければ真剣にカラオケ誘うのだが、君の父君も固い方だろう。俺は君にカラを破れ、みたいなことを言って、結局は自分の戒律は破れない。本当にお休みなさい。(返事がない)カラオケ行きますか。(行きません)私の引っ込み思案と自虐が出てしまったけど悪気はありません。君の鋭さ、ある意味での残酷さ。私には不純な動機は一切ありません。少し好意、言い方を変えるなら愛をもったことが罪にならぬなら。23時まわりました、これで最後です。本当にごめんなさい。お休みなさい。(笑) 弓恵ちゃんは強く、素直で清楚でまじめな女性だ。だからある面、庶民的感覚の中で浮いてしまうのだろう。年齢差か、私の積極性、自信のなさか、君の貞操観念か、やはり真由子さんへの愛か。私は、疎まれたみたいだ。恨みはない。私のサイトを見た君に語ります。私は神です。賢明なら耳を傾けなさい。真理は愛し合うことだけ、戦争があった。大陸に残された孤児の特集を見ようと思った。いや視たいと思った。聖書が制止した。ネガティブは私にはよくない。聖書が気遣う。でも責任を感じる。君が心正しき男性と幸せな春を迎えられることを祈っています。そしていつか神の国が生まれる、それも信じて下さい。お休みなさい。(笑)私は神です、君の心を見つめ続け、そして愛しています。だから一人ぼっちじゃない。信じて下さい。お休みなさい。(笑)(彼女から唯一返される、お休みなさいに(笑)マークがない。)ただ内側を清いものにしなさい。さすればすべて清くなります。神をさんびするものはひとり残らず救い取られる。愛を知るからです。イエスを愛し涙し信仰をもつ、博愛にて隣人に働きかけるとき、君は真の幸せを知

第3章

るだろう。神に愛され自己承認欲が満たされるからです。栄光だ。人のふり見て身を正す。そして自分の居やすい空間に移るのは全く問題ない。神と愛を心に抱き、主体性を持って自分を信じて善を行ないなさい。何度もお休みなさい。笑顔マークは沈黙とも言える寡黙な君の意思を知る唯一の表示だから。自分と神のために仲間を大切に。仲間の便秘の心配を毎日できるでしょうか。善行を誇るな。すべて神という河の流れに委ねる。もう一度おやすみなさい。(笑)(応答なし)大人とはそういうものなのだ。義、利、情に縛られ、保護管理される。自由に誘うのが神の愛だ。各人の作為的な計算には気をつけて。人は見栄張りでケチ。お休みなさい。実は知的障害のある子たちからメールが途絶え、裏切りを受けたようで落胆していました。身を処するだけで精一杯なのだろう。哀れと言えば哀れだ。無垢な姿を信じたい。いつも本当にありがとう。君の心の動き正確につかんでいるか分からないけど悪心だけは持たないでね。俺はいつも持っていないからね。お休みなさい。(笑)(返事がこない)いつも本当にありがとう。君の心の動き正確につかんでいるか分からないけど美しさを感じます。またよろしく。ハートマーク3個お休みなさい(笑)(間があってお休みなさい。)(笑)が返ってきた。君の差別を許さない筋の通った正義感には素直にこうべをたれます。あえて申すが生活を支えるお金儲けという現実にはぶつかるとき変節しないようゆるく願います。正義感と片づけたけど、常に善を希求する心。君は関係性の中、その寡黙さ故に苦しむだろう。信じられないだろうが神が書かせている。幸せになってほしいから。ハートマーク1個。ハートマークは思わず打ってしまった。深い意味はありません。安心して。君へのエールに相違ない。感謝を込めて言うが画面では自分の為に饒舌になってほしいなあ。お頼みしたい。ハートマーク1個 自分の為とは欲望を膨らませた醜く利己的になることではなく、神へ隣人へと美しい心を持ち、利他のため生きるということです。素直に温かく愛を打ち出そうね。弓恵ちゃん、我々は知らず知らずのうちに、天から与えられた戒律のもとに生きている。誰も破ることはできない。ただ愛を抱き生きよ。終わりはきっと幸せだからね。ソチという猫を飼っている。愛情をこの年齢になって初めて実感した。今まで対象の反応を意識した。ただ愛する。慈愛だね。君にも体験してほしいのだ。君にも愛すべき男性は現れる。本当に君のことを大事にしてくれるかが肝心。安易に妥協してはいけない。金より愛。そこを外さないで一生、一人身になっても。性的過ちはできるだけ避けなさい。思想は様々だが神との契約を重視しなさい。純潔を守り幸せになりなさい。誘惑に負けず強い意志で困惑を退けなさい。君にはそれが相応しい。お休みなさい(笑)聖なる理想と現実には大きな隔りがある、悩みと関与に屈しないためには女性としての強い貞操観念が必要だ。君にはその意味が理解できるだろう。夫たる誠実な人のために。美しい心、君なら必ず愛される。うまく話せなくても大丈夫。ハンデを思いやりに変え愛しなさい。後姿と微笑みを幸運な男は見ているから。取りあえず出逢いだけは大切にしよう。お金があるなら労働なんかどうでもいい。仕事か人か。人に決まっている。君らしく生きてほしい。辛ければベンジすればいい。初めての職場を社会の縮図と視ない。時代は変化している。思想も方法論も。君の想いが正解になるかも。時代が悩みを解決すると信じよう。君は君だ。誰でもない。君が大事。楽しい職場に出会えるよう祈っています。幸せにね。もう一度おやすみ

第3章

なさい。ありがとう。私の弱気を見せてしまった。神でありながら御使いたれ、と断言できない。貞潔と寛容。空の見方ができない限り嫉妬、煩悶などの悪感情を持つことになる。男女、貞操からの問題意識。欲望とのほぎまで格闘し、博愛に達した者だけが、神の国、永遠の命を享受する。その時は背中を流し合おうね。汚れた色恋沙汰はもう存在しない。早く、感情のコントロール、アイディンテティを確立することです。自らの価値観を絶対と信じ、世間にぶつかるとき何かが生まれる。憤り、いや愛と信じる。サタンは幼き頃何度も私の命をとろうと画策した。成人に達しては悪の道へと誘惑した。そして私は神としての因縁に目覚めた。逆縁ほど力になるものである。硬い話で退屈せんかったけ。悩み続け見えてくる。それがキリストの義である。罪人から信仰によって御使いへと変化するのです。博愛にたどりつくまで大変だろう。信仰しかない。本当にお休みなさい。君は、清い人だと思う。私はカレーハウスを去る。自然に強く生きてほしい。悪意が他人に見えても挫けてはいけない。自分の胸の内はどうだろう。作り笑顔では、真の善意を考察せよ。少し疲れました。また模索して自分の道を切り開いていこうと思います。私が去ることで結果的に君に負担がかかるなら本当に申し訳ない。ご自愛くださいね。自分にとって善き人はいるかもしれない。だが単によい人などはない。だからそのことを教えてくれるのが取りあえず好人である。そして罪人の意味を知る。イエスを信じ愛しさえすればどんな罪も許される。真実の信仰があるからです。つまり愛すべきものを愛すことです。世に完ぺきな人などいない。責めずに自分の道を模索するしかない。寛容と厳格。自らの価値観、指針を作成し従うのだ。できるだけいいから。愛すべきものと言ったって難しいね。未来永劫に光を与える人。私が筆頭か。神だからね。君の過去は見えない。けど未来は可能性が明るい。私が保証する。自己宣伝の意味はない。早く自分なり訓練を終え明日に夢見よう。競争心ではなく愛情を持って。辛かったら、逃げることも必要だが、まず祈る。不思議と楽に。君は辛いだろう。周りに理解してくれる人がいなくて、人は皆、自分にとって都合のいい人を周りにはべらせたいものだ。賢明な君はその寡黙な微笑みが武器になる。襟裳岬、知っているかな。(わけのわからないことで悩んでいるうちに老いぼれてしまうから黙り通した年月を拾い集めて温め合おう)。温め合えるかは君にかかっている。林さんに腹を割ってみては。あの人は、正直で無垢なものには優しいから。礼儀正しく相談してみるといい。そこから学習する。私の笑い顔は確かに不気味であろう。(笑)でも一度、最後でも、喫茶室のあるお店で思いのたけを聞かせてほしい。今の若者の悩みをわが身で感じるができると思います。心配することはない。日本は自由の国だ。自らの戒律はしっかり抱いていなさい。けど君の言葉を信じない嫉妬深い男性はアウトです。我等は親友である。機会作りましょう。それには努力と勇気が必要みたいです。頑張らずにガンバレ。お休みなさい(笑) 冬美ちゃん 頭正会の新聞を受けとることにしました。私の考え方に近く、南無妙法蓮華經の精神が仏法として勇躍しているのを感じます。少し日蓮としては微妙な心持ですが。冬美ちゃん積極的になるという功德があってよかったね。雄さんという旧友。凄く活動に熱心な人です。新聞の代金を肩代わりしてくれるそうです。最近私がキリストであることを理解してくれました。私の書いた本もほとんど読んでくれました。しかし私が日蓮であるということは認め

第3章

ることはできないと言います。既婚の男性です。会は、横のつながりが希薄だそうで、先日ココスで勧誘を先導した女性の名を、知りたいと申ししておりました。冬美ちゃん、また三人で会いましょう。因縁と共にアプローチは変わる。侮辱はなし。真摯に真理を求めたい。前は不意打ちをくらい、何の下準備もなかったので対決的になった。嫉妬、ひがみ、そねみ、妬みなどの悪心は仏法の敵、お互い気をつけたいね。勘ぐらず私の純真な気持ちを信じて下さい。君も教えを語るなら、どんな状況にあっても広く優しい心でありなさい。上から目線ですが二十歳違うから許してね。冬美ちゃん、私はいつも公然と語っています。私に悪いことがあるなら堂々と批判しなさい。それが日蓮の弟子ではないでしょうか。(返事なし)。

(秀美からメールの返事が届くようになった。と同時に冬美にはメールが繋がらなくなった。)これが縁というものでしょうか。(正美は糖尿病を抱え、軽度の知的障害があり、両親を亡くし伯母さんと暮らしている。)

秀美ちゃん、お疲れ様でした。忙しかったですか。ゆっくり休んで火曜日に会いましょう。ではお休みなさい。返事ありがとう。全然遅くない、大丈夫です。今トイレから帰り布団の上であぐら掻いています。恋人よ、お休み。私はある意味、いい加減な男だから気をつけること。心に博愛を抱いているので、ありがとう。尾崎の「群衆の中の猫」、聴いてくれ。ただ聴いてくれ。秀美、お疲れさま。君の強さが好きです。愛している、神として。

(返事なし) 俺は今、悲しみから君と正美を守りたいだけだ。優しさを嘘っぱちにしないために。よく解からないけど、火、金が休みで土曜日が出勤日になったの。今週だけなの。これから土日と出るの、大変だね。土曜日はありがたいですけど。「群衆の中の猫」、聴いてくれたかな。(よく解からないと返事が来た。)
「少しずつ生き方は変わるけど、求める愛の姿は変わらない。優しく肩を抱き寄せよう。君が悲しみにくれないように」。解かったかな。尾崎は優しい。自由を本当に求め大事にしたかったのさ。正美ちゃんと徒歩で店の買い物に行ってきました。いろいろ話すことができうれしかったです。障害者の深いところ、秀美にも参加してほしかった。話していい場所、時、人を正美も秀美もよく踏まえている。俺にはまねできない。二人は偉い。今メールが届いた。(お疲れ様、正美ちゃんと買い物行ってきたのだね。楽しそうだね。)俺は君たちの幸せを祈り守りたい。秀美お疲れ。俺はお前を友人のヨウスイ君と共に神の国へ連れて行く。だからいつも美しい心でいるのだ。自分をけして見失うな。約束は果たす。あの時、秀美が俺に辛い仕事を押し付けようとしたのかと勘違いした。俺は洗い場が指定席か。俺はどこでも俺だよ。愛は変わらない。光輝く。冬美に伝えてくれ。日蓮を大聖人様と祀り上げるものと一線を引け。本当の南無妙法蓮華経は、互いが愛し合うことである。(今、夢中になっていて無理)の返事。イエスへの信仰と神の国の到来を伝えて下さい。君たちの苦しみ、悲しみを真剣に感じ、救いのため罪の身代わりに十字架の死を選んだ人がいたことを。秀美、ヨウスイ君も自由な神の御使いとして永遠の命を生きることになる。純真で親切な人になり、美しい心を忘れずその日まで待て。愛している、強い君を。本当に君は強く自分を持っている。明るく、素直に、温かく。俺は君を愛しているのかもしれない。でも俺自身は多情だから君に薦めない。神の国は自由なところ。楽しく暮らそう。秀美、おれは神だ。つまりダメ人間かもしれない。俺を

第3章

愛してくれる女性に欲情する。でも俺を縛ろうとした時点で関係は破たんする。それでもいいかい。愛しているよ。秀美、俺の欲情は神のものだ。つまり君のためのものだ。だから俺からは何も求めない。俺は卑怯者かもしれない。君の幸せを願っている。それだけです。カレーハウス、君の休日、みんなでシャ乱Qのシングルベッド聞いたよ。ヨッシーのスマホでね。林さんや正美がいい曲だというもので、「聴こうよ」、てなって。また明日楽しくやろう。秀美から夜遅くに（明日も楽しみにしている）とメールがあったのを今朝、知った。秀美お疲れ。明日も仕事だね。本当にある瞬間、キスしたかった。でも君は女の勘で解かるのだね。私が真に愛している人が他にいることを。でも美しい心感じているよ。ありがとう。無理しないでね。今日は本当にありがとう。秀美も家でゆっくりするのだよ。イケメンのお兄さんと恋に落ちたいところだろうけど、神に祈ること、美しい心を受け止めてくれる人が現れることをね。これから強くて美しい君に惹かれてたくさんの男性が現れるような気もする。が、その前に神の国は建設されるのだ。信じるね。愛している、間違いなく、君の光源氏より 秀美さん、今日は忙しかったですか、カウンセリングうまくいくこと祈っています。お疲れ様。少しくたびれた光源氏より テレ繋がらなくしているのだね。聖書によると秀美さんは私と同様、聖なる博愛主義者だと示します。神の国が待ち遠しいです。愛しています。秀美、いたわりがなくてごめん。週末、土、日、二日、大変だったでしょう。休日ゆっくりしてね。いつか愛を交歓する時が来ることを祈って眠りに就くまでメールを待ちます。秀美さんを御姫様抱っこして、ホテルの階段を駆け上がりたい。高級ワイン飲んで浴室の君を待つよ。完全に私の恋愛関係妄想です。少し欲望に酔っています。いけませんね。私は大概の女性をいたわりの対象と見ます。肉欲ではありません。神は愛に窮乏しているところに重点的に暖かい風を吹き込みます。愛すべきものすべてのために。私のきわどいメールに「困惑する」という応えに対し、俺は神、正直に生きる。真実の愛を示して。当たらず障らずではおれない。たとえ嫌われても。俺の使命だから。ごめん、気付かずに、君は私を神と信じているのだね。清らかに、現れてほしい。なぜか涙があふれてきた。心配はない。私に不義の因縁はない。愛の言葉にて不幸を追放し、幸福へ。心配しなくていい。ありがとう。俺には秀美と正美と弓恵がいればオーケーだ。隣人とは君たちだ。愛しているよ。こんな多情を、博愛ときれいごとにしてている。今度、秀美と正美、二人家に招待したいけど、どうかな。秀美さん、正美さん、今日は平和に過ごせたかい。元気だったかい。正美、東京旅行楽しんでいるかなあ、持病の糖尿病なんともなければいいなあ。悪い予感がしたよ。正美が素直に預言者に従いテレ番号を私に教えていたなら、血糖値の乱高下も起こらなかった、というのは無情か。正美をいたわってやってくれ。君たちを愛する守護神より。俺はただ暮らしを見つめ、君たちと愛を育むだけ。正美にとっては父親みたいなものだろう。彼女がいないとやはり淋しい。でもおじさんや友達の愛とは違う。私は聖なる神だ。愛をもって信じなさい。侮辱すれば天が罰をもたらす。私を神と思わないものは神からきたものではない。すなわち神の子ではない。秀美、間に入れてくれてありがとう。正美ちゃんと直接メールしたい。きっと彼女のためになる。「神に従順であれ」。この意を伝えて下さい。乱高下する血糖値は安定するはず。南無妙法蓮華経を10遍と、「天の父の御名

第3章

があがめられますよう。御国が参りますよう」。と唱えるよう伝えて下さい。 一緒の伯母さんと彼女が私にテレ番号を教えるかで、もめているね。聖書に出ています。 秀美さん、御免なさい。厄介掛けました。人々は不従順にされている。待てば海路の日和あり。聖書は頑として正美の方から私にコンタクトを取らないと根本的に状態は、好転しないと示します。でもこの件は結果としては未来への吉報につながると出ています、つまり信仰へと向かう。 秀美、今日も暑かったな。お前が言った「タオルを用意しろ」、それに気を取られエプロンとバンダナを家に忘れてきてしまった。障害者だな。 元気だったかい。今、冷房つけています。電気代少し心配だけど。暮らしより愛を優先さえすれば大丈夫です。秀美、早く風邪治せよ。 秀美、お互い孤独を愛している。少し違うかい。秀美、お前に負担を掛けるつもりは毛頭ない。俺を男として愛さなくてもいい。メールをくれる、神に従順なのはお前だけ、それが事実だ。そこに気づいたのさ。それだけさ。 「お前の胸の上、優しい光ともして眠りたい。自由になりたいかい。スクランブルロックンロール（尾崎豊）」。 神に委ねる決心をする。それが大切なのだ。神を信じ愛することだからだ。しかし不義には至らない。ここだな。すべて対象の女性の幸せのためであるということだ。確認のため、あらためて記しました。俺は神だよ。君がすべてを納得し理解し私の心に沿うとき、つまり愛を抱くとき、私の欲望を満たすのではなく、君に真の幸せが訪れるのだよ。忘れないでね。 テレありがとう。何かの予兆だろう、この豪雨は。神の国は訪れる。ヨウスイ君と幸せになるのだ。清らかな心を忘れてはいけないよ。これが私の本当の姿だ。秀美、正美にも伝えてくれ。俺たちの大切なものを引き裂く何かがあることを。お前たちは理解しているね、神の愛を。 聖書はお前たちが俺に従わないことを伝えてきた。俺は独りよがりにも見えても真実へ歩いていく。愛すべきものたちのために。 秀美、悪かったな。猥雑なメール送って。俺はいつもお前の味方だ。本当に、悪かった。幸せを祈っている。

(彼女たちが神の業を信じるなら救われる。信じる者はすべて救いたい。私は真由子さんしか愛せない。そこを見抜き、彼女らは私に気があるようで、また無情な態度を示すのか。裏側には私のうぬぼれもあるが、なにがしかが彼女らの心に底流して居るのは事実であろう。もうメールはやめよう。だがメールは彼女たちの為にあると、私の中の神が叫ぶ。苦しいぜ。真由子さん、ここから助け出してほしい。)

秀美へ 女性に甘いヨシトはお人好しです。あまりいじめないように。話しやすい男で結構。それでいい。メール友達でいてくれて本当にありがとう。優しくて親切か。俺は見かけで勝負したいけど、少し違うね。でもありがとう君の優しさが身にしみる。今日はありがとう。愛を忘れない。いつも愛すべきものを愛す。すべてに。それでいい。 やっぱり恋の話は楽しいな。俺みたいな年配者の話を聞いてくれて本当にうれしい。ありがとう。(笑) しばらく会えないが自殺などしないように。(笑) 秀美、なにも心配はいらない。俺の心はいつもそばにある。正美にも弓恵にも、それでいい。それでいい。愛を感じてくれ。 秀美、でも君だけだよ。率先してメールをくれ、テレしてくれるのは。感謝している。本当に優しいのだな。ありがとう。 ガンバレ、秀美、「俺の心を奪え」。冗談だよ。俺の愛はすべての健気な人に注がれている。とりあえず秀美と正美と弓恵は守り続ける、神として誓う。秀美

第3章

少しふざけたが、救いはイエスキリストへの信仰にある。辛い思いをしている人ほどそのことを大切にすれば救われる。そして自分自身の南無妙法蓮華經を確立するのだ。秀美、人間は哀しいものだ。このことは忘れず覚えておいてくれ。仕事、ミス、誰も死なない。補完してあげればいいのさ。あげつらうのは良くない。怒りをかうぞ。アバウト、おおらかでないと嫌われるぞ。そんなものだ。　　凄い気づきがあった。生命維持のための食いものはなくなり、食欲は消え、病をはじめいろいろな事柄から解放される。神の国に入る。条件がある。素直に優しくて深い思いやりがある人。比較から離れ、博愛の嫉妬なき人です。　　秀美、もうすぐだ。お前は本来の姿を見せるのだ。幸せに暮らせる。かわいそうだからヨウスイ君も助けてやろう。美しい心で自由を生きるのだ。そして愛し合う。　　秀美、何やっとなる。返事くれ。　　(勘違いするな)だと、よく解からないがお前が俺に気があると俺が思っているってこと。まあ怒らないで。俺は神であるということを伝えたいだけ。少し君が怖くなった。明日頑張ってください。　　人々は行いよりも愛に基づく信仰により救われます。自らの義を誇るより、温かい思いやりを神は待つのです。皆、勇気を持って、そして最後、人は祈るしかない。　　サタンが仕組んだ、私を傷つけるための秀美の裏切りなのか。聖書は「秀美、弓恵へのメールはもう控えておこう」と示した。実のあるのはナンバーを教えない正美だけだと。そんな気もするなあ。悪人を探せと、かつて聖書は示した。しかし罪を定めるなとも。神を愛し、傷つけられない強さを本当に知る者だけが永遠の命を得、神の国へ入る。君が言う。「話しやすい男」というのも考え方では侮辱にとれる。ヨウスイ君を悲しい目にあわすなよ。利用はよくないぞ。　　まあ、私も少しいい加減なときもある友人でいいよ。「勘違いしないでと言ったのはヨウスイ君が友人であるってこと」と弁解する。やはり君は俺が好きなのだよ。君は神の恋人のひとり。たくさんの女性を救いたいから。「ごめんね」と言ったら勘違いするなと叱るかな。　　私に繋がっていなさい。枝が木に繋がってなければ実はない。私が愛したようにあなた方は互いに愛し合わなければならない。　　秀美、多分、お前は良い奴だと思う。それでいい。来る世まで元気でいてくれよ。　　(正美と秀美をお盆連休中に自宅に招待しようと思った。正美はやはり事情があってフェードアウトしていた。間に入り楽しみにしていた秀美に、メールを送った。)

また正美に働きかけてみてくれ。なかなか世の中うまくいかないが美しい心があればいつかは実現する。信じて下さい。幸せを祈る。神は生きている。　　俺を信じるものは皆、神の御使いとなる。辛いことがあってもくじけるな。美しい心、人を思いやる心、忘れるな。神は見ている。俺は俺なりに君たちを守る。誰かを傷つけることになるかもしれないが。大きな愛を信じてほしい。人間愛かな。君たちが過ごしやすいよう祈っている。秀美、日曜忙しかったかい。お疲れ様。水曜日よろしく。　　秀美、ごめん。なんかそっけない、メールだったな。もしよかったらお盆休み冬美ちゃんと我が家を訪問しないか。せっかくの休日だから有意義に楽しく過ごしたい。考えてみて。姉妹一致してね。　　秀美、わずかな気持ちの持ち方だが、率先し出来る範囲でいいから相手を思いやり仕事をする事だ。後姿を神が見ている。怒り、愚痴に変えてはいけない。美しい心が大切だよ。サボっているように見えた、弓恵ちゃんの体調もわからないし、君も休憩すればよかったのだよ。店

第3章

長が指示を出すさ。素直に一生懸命やることだ、自分の務めを。 秀美、俺の意見にかなり、腹が立ったかな。まあいい、素敵な彼氏がほしければ、暖かい思いやり、忍耐力など長所を持たねばならぬ。人間性も少しずつ温めていけ。今日は楽しかったか。聖書の促しでメールを送る。やはり私は正しい信仰を持っている。傷つかないハートを得ました。秀美はどうだい幸せかい。現在。 秀美、健常者をはじめ権力を望む人は、一番大切な寛容を養う信仰、愛が解からない。そこの所に気づいた俺たちは本当に幸せだ。仕事は率先垂範すると気持ちがいいよ。失礼なこと言うけど語彙の意味も理解できるのか。嘘じゃないな。君は知的障害者を演じているのではないか。キリストの義は解かるか。解ければ花嫁にしてやる。偉そう。秀美、今日はお客さん一人も来なかったぞ。明日は忙しいかも。夏バテせずに頑張ろう。秀美、悪かった。侮辱したもののいい。理解力は神から与えられる。君にも解かって当然だ、私を愛しているのだから。でも煩雑さに負けてさもし根性は起こさないで。 秀美、今日はありがとう。困惑させる私だが、多分正直に生きているからだと思う。俺のハートは幾多の健気な女性を受け入れたいのだろう。やはり光源氏だ。来る世では精神的な結びつきがメインとなる。嫉妬はなし、キリストの花嫁だ。そのとき幸せは訪れる。まずは祈ろう。時折、静かな君の微笑みに見とれるときがある。 秀美、孤独を感じたら俺を思い出せ、そして祈れ。俺の面影を感じることが出来るから。俺は君を愛し、また善なるものすべてを愛す。ゆっくり休まれね。 秀美、私は今、相容れない人たちを切っている。孤独に陥ると思う。だが迎合し、ごまかすのはもういやだ。私は聖なる道を歩もう。君には一緒に来てほしいが。悪から立ちかえらせて善に向かわせるため神はイエスをお遣わしになった。イエスを信じ美しい心をもつのなら君は神に選ばれる。 秀美、元気ですか。今日、正美の修くんに対する告白の仲介をした。うまく行って彼女はご満悦だ。秀美、メールないけど、俺なんか傷つけたか。少し脱線したけど、わからない。とにかく許してくれ。またメールください。お願い。 (私は思った。秀美には私が必要でなくなった。弓恵も。二人とも独り立ちの時が来た。メールはやめることにした。それでいい。しかし工賃をもらってびっくりした。秀美にメールした。そして弓恵へのメールもそれを機に再開した。)

秀美、俺の時給が事前の連絡もなく今月下げられていた。哀しいだろう。秀美、前にメールで家に呼んだことがあったね。君が訪問の要求に素直に応じていたら結婚を申し込んでいただろう。もしかしたら君は神を敵に回したのかもしれない。(返事がない。)俺は君を甘やかすために存在するわけじゃない。君の裏切りは罪人のひとりとされる。イエスの博愛に呼応しないからである。淫猥で不実だと私に失望したか。私は君を孤独から救いたい一心だった。私は心優しいさびしいたくさんの女性を信仰に導くため存在していると誓う。(応答はなかった)。 (実は彼女は私が真由子さんを愛していることに好感を持っていたのだ。その一途さに感動していたのだ。)

弓恵ちゃん、本の編集に入りました。少しメール休みます。また連絡します。サイト見て下さい。ではお休みなさい。(笑)しばらくして(お休みなさい)が返ってきた。(次の夜)ごめんね。お休みなさい。(少し間があって)(お休みなさい。)素直に受け取る嬉しいです。お休みね。(笑)私のメールに好感があるのは否めない。無二の親友よ、愛している。

第3章

未来永劫。(ハートマーク) 君はまるで維摩居士みたいに覚りを黙して表しているみたいだ。でも私は言葉拙くとも話すことに利他の精神を感じる。とつとつと語ろうかね。君は本当に鋭い感性を持っている。神の如くだ。しかし自己防衛だけではいけない。そして馬が合う、友達になれるような女性が現れたら本当にいいね。時間オーバーだね。お休み。君は素直で負けず嫌いだから祈ること。心の鎖も融けるだろう。君は言葉を重視する。私の思考回路を追うなら無口でも嬉しい。君を沈黙へと仕向けるのはサタンです。隣人を愛し下品ではなく変なプライドを捨てるなら、またいいこともある。私を信じられないなら神の子ではない。隣人とは薄情な人ではなく、いざというとき介抱してくれる人だよ。自由な御使いとなりキリストの花嫁と呼ばれる聖女になるのはいかがですか。秀美、清らかな愛ありがとう。俺が辞めた後、正美に片寄りだが繋がるようになった。よかった。君のお陰だ。正美と伯母さんにありがとうと伝えてくれ。俺の心だけでも届けるさ。いつもピエロを演じているのを知っているよ。辛い過去があるのか。嫉妬心なく仲を取り持つ優しさは幾多の労苦から生まれたものだ。敬意を表す。ありがとう。弓恵も解かるだろう。サタンは人の心に忍び込む。意識してもしなくてもいけない。良心を確かなものへ。王国で君の歌声を聴いてみたい。皆、生き、老い、病になり死んでいく。神を裏切ったことへの懲罰だ。神は泣いている。悪魔は喜ぶ。神は美しい心に安楽を与える。神、隣人を愛すものである。(私の自慢と葛藤を表しているみたいな内容だが、「彼女たちは健常者に多くいる、デリカシーなき一派とは違い、本当に人の心の奥底が解かる障害者と呼ばれる聖女たちであった。私は真由子さんへの愛を今一度再確認させられた。そこを見つめた彼女たちは、私に対し親近感という強い信仰を持っていたのである」。そのことを今回、伝えたかった。)

彼女たちの年齢

秀美38歳 冬美36歳 弓恵24歳 正美29歳

私は大発見をした。博愛にはフリーセックスの香りを感じていたのだが、どうも嬉しくなかった。博愛は信仰へと導かれるのがすべてであった。義と愛を持ち、正しい暮らしを送る。豊かな人間性が大事だと気付いたのです。欲望を満たすのではなく、ただ親愛に生きる。それだけです。

第4章

浜田省吾の（もうひとつの土曜日）。

好意を抱く我が身に、悲しみを浮かべながらも微笑みかけてくる、恋人がいる女性。「君を裁こうとするその心が、ときに俺を傷つけてしまう」「週末の夜は俺に出来ないか、たとえ最初で最後の夜でも」「いつもそばにいて手を貸してあげよう、受け取ってほしい、この指輪を、受け取ってほしいこの心を」切ない曲である。人はなぜ結婚を求める。束縛し、されるとは誰も思わない。そして繋がる、美しき約束と喜び信じる。聖書には来る世、愛あるものは皆、神の御使いになるとある。自由である。契約という束縛と、自由、どちらが幸福か、少し考えてみた。着々と進む結婚、極めて政略的か本能的である。婚姻の正体。まず憧れ。契約。だがその呪縛に気づき、博愛をめざす者がいる。仏教の空の教え、温かい思いやりが漂えば、皆、愛すべき人と言える。「見かけ、学歴、収入、地位、」比較と獲得。これは競争して一番をとるのと同様である。ただけない。真実、自らを忘れる恋があり、深い情緒から生まれる、理性に裏打ちされた愛が存在しなければならない。私は素直に生きる時、傍で悲しい顔をしている女性をほってはおけない。イエス、神、人間としても。これが浮気、不倫とよばれるものならば、婚姻に対し否定的になったのである。こんな境地になったのは、私に一途な恋があり、それが対象の婚姻によって破局に終わったことからだ。未来志向、真実の幸せとは。思いやり、心が通じる。恋の成就、愛が深い。縁がある。そして自由、平和の下、神の御使いになる。そこには失恋も、絶望もない。悪しき欲望がないからだ。愛が満ち溢れ、互いを大切にし、そよ風の中のように心地よく生きる。永遠に。博愛(アガペー)と、自由、皆さまこの拙文、何が言いたいか分かりましたか。結局、私は愛している。健気な真由子さんだけを。人間義人は祈らなければ聖霊の宮から離れてしまう。葛藤する姿、ただ祈る。それが神へと繋がった。私は世間的な栄光には縁がなかった。だからこそ神になり下がった。神は愛である。愛は酷い扱いを世間では受けている。金、権力、栄誉、人々は群がる、愛を踏みつける。心あるものにとって愛は絶対であり、なくてはならないものである。いや、すべてである。父の死に疑念がある。もし母が言うように病に負け酒に逃げたのなら、こんな馬鹿な話はない。死を恐れていたらもっと体調管理に留意しただろう。暴飲、泥酔はわざわざ死を招くようなもの。真相は。これは緩慢なる自殺である。ではなぜ父は縊死など表立った死を選ばなかったのか。それはきっと私への配慮であろう。いじめ、差別からの回避である。そして父は毎晩、強くもない酒を飲み回り、ひたすら動脈瘤の破裂を待った。そこには情けない男。女房を困らせる、ろくでなし亭主の姿があった。父が死ねば、残された二人の子供を育てる、健気な寡婦として母に同情が集まるだろう。これは酒を売る上では大きなメリットになる。父はそこまで計算していたのである。実は父の死因は判然としていない。数日、家で頭を抱え寝ていたが、そのうち何かに委ねたかのように腕を宙で交差させていた。意識が混濁していったようだ。救急車が呼ばれた。小さな病院に運ばれた。母が遅れて到着すると、父は点滴を自ら抜き外していた。父は死を望んでいた。最期、やっと来た家政婦は、母にこの先は見ない方がいいと言ったという。苦しむ姿が目には焼き付くからで

第4章

ある。父は目を大きく見開くと母の腕をしっかりと握った。離さなかった。それが別れであった。父は間違いなく聖霊の導きに殉じたのである。父の背骨を赤い線がつたっていた。父は思春期を迎える私に最後の贈り物として男の最後を見せつけてくれたのである。母が言うように、ジッとしていれば少しは生きられたかもしれない。サングラスをかけぶらぶらと。無為に。しかし商才では、はるかに敵わない母の庇護の下、自尊心の高い父が、生き恥をさらせたらうか。私と生きた11年。「これから出会うであろう、世の醜さに負けないように」。父からのメッセージ。尾崎豊の死にオーバーラップする。「新しく生まれて来るものよ。お前は間違っていない、誰も一人にはなりたくないんだ」父は真の聖者として天に召され、私にとっての天の父、イエスが呼んだアパ（とうちゃん）となった。父はエゴイスティクな母には暴力を行使したが、私と妹には言葉でなじることさえ、一度としてなかった。「情けなくとも優しくあれ」天の父の声がする。父は理想主義者、母はリアリスト（現実主義者）であった。 孤立するのを恐れる人とは自分がかわいい、傷つきたくない人が多いのでは。ポーズをとるのではなく自然体で周りにかかわってみる、気付かなかった優しさに出会えるかもしれない。損することになっても幸福を感じられるかも。まず人様を思ってみることだ。私に騙されたと思って。それは各位その人の想いの範囲内でいいから、小さいことを喜びに変える、それが幸せへの始まりである。しかし孤独にも良い孤独と悪い孤独があるだろう。愛、無き孤独これは辛い。孤高を保つ孤独、憧れを感じる。私にはそれが幸せと思える、世間が本当にさみしい。 私は天の啓示を受けて、今始めて非情になる覚悟をした。裁く、それは単なる悪口を言うのと違い、悪者の生活の破綻までも視野にいれる決断をなすということである。 非情な母は、相手が「赤ん坊のミルク代に困っている」と言っても掛金は取り立てた。弱みを見せればつけ込むやつらが出てくるからだ。生きていくためには人を切ってもかまわない。 私がサービスを受けるために訪れる、友人たちが経営するお店。理不尽にも不当な扱いをいつも受ける。彼らの甘えを受け入れるべきなのか。コンプレックス、妬み、哀しいものだ。なぜなのだ。人とはこんなにも哀しいものなのか。「行くな、友情など始めからないのだ」。母は切り捨てる。そんな母だが（息子の修学旅行費が払えない）と困った人に、黙って金を貸したという。つまり筋を通したのである。 そしてR会、男の死。私は何度もこのひとにコンタクトを取ろうとテレした。だが梨のつぶて、音沙汰はなかった。母は葬式へ行けというような意思表示をする。私にはなんの義理もない。行かない。私は神である。真実の愛を大事にしたい、相反する者はサタンの手先である。私は私の道を行く。南無妙法蓮華経。南無妙法蓮華経。南無妙法蓮華経。そして弔意をメールで新川さんへ依頼した。 度胸も、落ち着きも、無心も緊張も聖霊の宮となった私に時宜に応じて表れる。祈りから離れてはいけない。 R会、理不尽からは忍耐しか学べない。いつか理不尽は理不尽とハッキリさせなければいけないね。それが大切さ。 人は肉欲と食欲のため苦しみ続けてきた。解放される世界が神の国に通じる。 サトリとは到達した距離でも、地点でもない。どこをどう歩き、見聞したかで自覚するもの。ただ祈るのみ。 一位、二位とつけるのがよくな

第4章

い、それより勝負というものに問題がある。果ては殺し合いを認めることになる。神から授けられた、自然体は崩す必要はないと聖書は言ってきた。勿論そこには資格が必要だ。他の自由を阻害してはいけない。母は敵である。つまり偏見を持つ常識的人間、これが一番の敵なのだ。愉快に平和に、愛に満ちて自由に。それがいい。大切なのはそこに思いやりがあるかどうかだ。私は聖霊の宮。心の中、神は表れ存在し続ける。自分のために生きるのなら、自分のために死ぬこともできるだろう。それでいいかい。やはり他者のためにも生きなければと思うのだ。死は自分だけのものではない。しかし死によって本当の自由があるのではないか。依存のない世界である。妹へ、おふくろはわがままで天真爛漫だから生きてこられたのだ。しかしそんな性分だから辛い人生を歩むことになった。それは前から気付いていた。憐れみと少しの恨みと大きな感謝で報いたい。南無妙法蓮華經、キリストの義、広自苑の最後に、雄さんに「宗教は幻だ、ファンタジーである」と示した。これは完全に反語である。宗教は目に見えない世界を幻のように感じながらも真実なる存在と確信するものである。ただ幻想、空想を信じる偽宗教も多い。私は頑迷な人に分かって頂きたいのである。由美さんへ、火曜日、元気でカレーハウスに居て下さいね。勇気と愛情の塊、由実、「愛している」。この言葉を入れないと送信できないのです。何を示唆しているのだろう。やはりあなたは聖女だということか。ツタヤで「七人の侍」、借りて御覧になってください。凄い映画があるものだと思いますよ。まずはお勧めします。由美さんなら必ず感動しその素晴らしさが解かるはずだ。まずは風邪、治してね。頑張り屋の由美さん無理はなさらぬように。皆もリラックスされた姿を愛すると思います。いつも獅子奮迅の活躍。気使い、優しさ。ありがとう。でもここは笑顔でご自愛ください。由美さん、今日はありがとう。もっと聖書の話をしたかったけれどほどほどでいいよね。神は優しい由美さんを愛します。意欲は自由から生まれる。神はアブラハムに息子イサクを殺すように命じる。一步手前、神は止める。ここから神への忠誠心の大切さが解かる。由美さんの幸せを祈るものがここにいる。深夜までお忙しい中、私の資料、御目を通しておられるようで、ご迷惑だったのではと案じています。でもぜひお読みいただきたい。楽しく暖かくそれでいい。麻田さんと待ち合わせA型施設の見学に行きます。まずはお知らせいたします。また由美さんのアドバイスを期待します。お気づかいありがとうございます。由美さん、昨夜は遅くまでカレーハウス、予約が入り大変だったみたいですね。由美さん、暑い中、事務室エアコンが無いそうで御身体、心配申し上げます。本当に元気でいて下さいね。優しい由美さんへ。キャー、返事キター、ウレピー（笑）ハートマーク。由美さん忙しい中、返信いただき本当にありがとうございます。依頼人の方とか約束時間などやりくり大変でしょう。嬉しかったです。その優しさがやはり好きです。由美さん見学、行って来ました。今月中、あと、数軒回る予定です。麻田さんもザックリと力になってくださり、ありがたいです。いろいろなものを考慮し、クリアーし決定に向かっていけばと思います。（コリント人への手紙、1章10節 主イエスキリストの名によって皆、語ることを一つにし、争わず、同じ心、想いで固く結びあってほしい。）、現れました。

第4章

情報の質と量は由美さんの方が存知されていること確実です。しかし努力される麻田さん、やはり聖書の因縁と神の愛によって善き方に定まると思います。 誤解を与えるメールでした。由美さんにも力になってほしい。その方向に最良のものがあればいい。そういう気持ちです。お気を悪くさせたならごめんなさい。 ありがとう。昨日は多忙な中、通話までしていただいて。また夜分、不躰にメールを送信し申し訳ありません。またこれからもアドバイスしていただければ嬉しいです。麻田さんと見学に行く予定だったところ距離的に遠く、見送らせていただきました。報告です。五福の施設にお世話になりたい旨、麻田さんにお伝えしました。送迎、駐車場の兼ね合いを条件としています。話は盆休みを超えるでしょう。御報告。 由美さんには去っていく身にも関わらず、親身になっていただき本当にありがとうございます。細かい条件もクリアされれば幸いです。そして愛しています。いつ。どこにいても。 ごめんなさい。修くんのお母さんに寂しさのオーラが見えたもので、お役に立てればと、はしゃいでしまいました。多くの障害児に触れた優しい由美さん。「許しているよ」と聖書に肩をたたかれました。由美さんの親切心が飛躍してしまっただ。男と女は気持ちに温度差があり難しい。けどそこにこだわると何も生まれない。愛に従順に。人は人を傷つけずには生きられない。滑川の中田君の連絡先が知りたいです。気になるのです。友人になれそうな気がします。私は神です。明るく素直に温かくかかわりたい。福音は確かに届く。 由美さんの天然の人柄がやはり好きです。明日、病院へ行きます。真由子さん元気かな。 中田君の想い、ピアとして聞いてあげたい。私なりの誠意を割りとアバウトに伝えたい。 由美さん五福の件、保留です。聖書が見学を断った施設へと促します。麻田さんに確認をし、移る時機も限定しないように致したく。その旨よろしくお伝えします。元気で。自己本位でごめんなさい。決定するまでカレーハウスにおいて下さいということです。林さんにもよろしくお伝えください。 「中田君は携帯電話持ってないから控えよ」、と本当に残念です。 賃金頂きました。工賃の低迷は理事長のひとり勝ちによるものですか。利益が少ないのに人間が多すぎるとは。商品の価格や効率性の問題。助成金の効果などは。私は忙しいときだけの使い捨てを感じる。職員は少なくとも我等の十倍の賃金。私の新聞代の捻出をめぐっての工賃の便宜も場当たりの、勤務日数が増えると工賃が減額される、極めて恣意的で不透明で説得力を欠く。答えは如何に。寸暇があれば行政の窓口にて詳細を確かめたいと思います。ありがとうございました。告知の過失を認められましたね。新聞代も払えない、当時の私への配慮、感謝します。しかし一連の仕組みの全容知りたく希求致します。しかし、極めて個人的欲求にて糾弾の意思はございません。暇に任せてのことに。B型施設は訓練ですからね。 由美さん多忙なところ失礼します。私の進退を聖書に問うたところ「盆休み明けで辞せよ」と神託がありました。私は準じます。よろしく願い申し上げます。では。 「由美さん、負けず嫌いの君は自説にこだわり、人々に押し付ける。目に見えない世界はあるのだ。しかるに神まで侮る。君を襲う幾多の病魔。幾多のストレスと共に尽きることはない」。由美さん、愛が憎しみに変わることは得てしてあります。我々は違います。あなた方職員の悲哀も私なり

第4章

に把握しています。母は防波堤である。今の私には必要である。私の多情、博愛というものは、かなり危険性を含んでいるからである。母は私が暴走しないように歯止めになってくれている。鬼の母がいる限り有象無象の魑魅魍魎は我が家には入り込めない。感謝しなくては、私は本当に危険に無防備で他人に寛大すぎるからである。余りにも無頓着。愛さない愛って良心に一番辛く苦しいのかも知れない。愛することが重荷になってきた人へ、愛する人を捜し求める人へ。日蓮の本尊、釈尊の久遠実成の釈迦如来、これは覚り、法として一体ということです。それが法華経。二仏は成り立つということです。つまり南無妙法蓮華経。一番大切なことは他人の評価ではなく自分が幸せかどうかである。障害者にはよく解ることなのだが健常者には難しいみたいだ。尚、解からない障害者は苦しみ続けることになる。友へ、真剣で重い。私には難しい境界。薄っぺらいと思われるかもしれないけど。それでも私が裁くとしか答えようがない。俗世間の価値観には仕様がなし。ありがとう、迷惑をかけたね。俺が自分の打ち出し方を迷っているところをあの人に突かれました。殴らなくてよかった。またよろしくお願い申し上げます。無二の親友へ。義人という、いかれた奴が、ちまちまやっているという感覚ならもういい。イエスは熱情家であり激情を伴い神の愛を説いた。侮辱に対しストレートに答えるのも愛ではなかろうか。俺は救われる。だからいいのだ。ただ、神の国、永遠の命に縁がある人を導きたい。でもそれはもう決まっています。紛れもない、愛を抱いている人です。合わせる。侮辱されても、その場のため、私は御免です。理不尽、勘違いからくる侮辱にはみな顔をしかめるはず。人を侮辱すれば痛い目に遭う。基本的に社会に出る前にマナーは教わるはず。生産的な会話もなく、ただ傷つけるだけならその人は蒙昧である。人の愛を何とする。俺がアセスメント（査定）されるのではなく、私が裁くのである。低くするものは高くされ、高ぶるものは低くされる。聖句です。昨夜はみんなのため良くない体調でも飲み会へと先導して下さりありがとうございます。幼稚園児にも想いはあります。あなたの鉄拳が不思議と恐くなくなりました。慎ちゃんへ 御志、頂くという一文と口座番号、名義人などの記述をすべて撤去しましたね。すると不思議にぎこちなかったPDFの操作がスムーズに反映されてきました。私に金銭欲があった証拠です。目に見えない世界、金は天下の回りもの、生きていく間に必要な分は与えられるということです。確信しました。私は自分なりに金をつかい続けるでしょう。有難く。現在 やはり結婚は重大な契約であると聖書は示す。不倫は許されない。特に情欲を交わすだけのものは。私は清潔なる真由子さんの離婚をひたすら願う。でもそれを口では否定した形を取る。この矛盾。やがては神の御使いになる。清らかな愛の成就である。では清らかな愛とは如何なるものか。コンテスト、一番を目指す。幾多の条件を満たした唯一の人を異性として愛する。それが結婚のはじまりになるのは絶対善くない。やはり縁によって恋をし、因縁の中、暖かい心で結ばれる契が本当である。そして結婚が肉体的金銭的な呪縛になってはいけない。情欲、肉欲ではなく、大きな寛容な愛が存在し、そして美しき好意をもって真由子さんとすべてを超え、結ばれる。肉体ではない、心で。肉欲の強い人には想いが及ばないかも

第4章

しれない。それが自由な神の御使いになるということです。婚前に男と関係をもつ。いろいろな事情があるだろう。懺悔するという殊勝な気持ちになったとしたら、まずは正解だ。だが悩みを深くして、良心を痛めさせ余計に苦しむことになる場合もある。この問題の根本、つまり姦淫の罪はアダムとイヴが神を裏切った時、善悪を判断しようとしたときまで遡る、個人の後悔と神に対する陳謝だけでは、片付かない根深い問題なのである。イエスは病人を治しにやって来た。信仰という愛を抱くことで罪の苦しみを乗り越えることが出来る。イエスは病人のためにいる。ただ自分が病気であるという意識のない奔放で好色な人がいる。彼らはその価値観を改めない限り自らに執着し、生活の中、四苦八苦するのである。愛を選択する強さ。愛を踏みしめる強さ。どちらが本当の強さであろう。優しいということが真の強さに結び付くところから始めたいと思う。私は南無妙法蓮華経を一つに、日蓮の時代に戻りたい。漠然としていた。一つの光明、答えが見えた。各位が各自の南無妙法蓮華経を持つ。つまり法華経の中に埋められた核といえる、大事な仏種を掴む。それは寛容、親切、愛、善、繋がった仏陀の覚りであるということ、思いやりです。その想いを皆、保ち、信じ、守るということ、それが南無妙法蓮華経を一つにすることです。それが日蓮、私の南無妙法蓮華経です。林さんへ 生きるため、勝つため、傷つけぬためには二枚舌は必要であるということ。林さんの下で修業した皆が良識を持ち礼儀をわきまえた強いメンタリティーで忍耐強く注意深くなり、そこから感謝が生まれる。自立ですね。カレーハウスのお陰。林さんの指導で作業能力に関しては著しい成長を感じます。けど、愛なき生活との格闘は避けたいです。神として。自称、腹が黒い林さん。指導のおかげで、私の面の皮も厚くなり、二枚舌も冴えております。確実に私の忍耐力、持久力は向上しました。たくさんのお来店されたお客様と、林さんのおかげです。(笑)林さん、忙しい日曜日の前夜ごめんなさい。秀美ちゃんから「勘違いしていない」とメールがあり当惑しました。神以外の男性なら傷ついたでしょう。少し思いやりに欠けます。お忙しいところすいません。下らぬことをお耳にいれ、えらく男が安くなりました。でもこれが神かもしれません。お忙しいところごめんなさい。秀美さんから弁解のメールが着きました。言葉足らずが原因ですね。ご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。傷つかない心、再構築しなければ。土曜日、店が暇だったのは、皆、暑くて外出する気が起らなかったのかもしれませんがね。秀美さんの件、お騒がせいたしすいません。決着つき、誤解でした。また報告します。ありがとうございます。若者たちが林さんを通し、その仕事に向かう姿勢から自制、忍耐を学び、また社会への献身を体得するのを願ってやみません。すべては自分のためと気づく。そして生きとし生けるものを愛する。聖書の促しによりお盆明けに辞したい旨、由美さんに伝えました。林さんと近在のラーメン屋さんに行きたい、夢がありました。ご予約はどんなものですか。大丈夫ですか。ぜひとも。林さんは興味のないんちくを語られるのでいささか閉口するときもありました。しかし神をさんびされる姿もある。そして大人としての思いやりをどんな時も忘れない。日蓮正宗へと勧誘するため貫井がお店に押し掛けた時、愛情不足の彼を同情から心で受け

第4章

いれてくれました。ありがとう。　優しさの追求に貪欲な自分がある。それだけが私の真実。つまり傷つくことが多くなる。寛容か、どこまで寛容になれば愛は成就するだろう。皆が孤独に陥らないで、永遠の命、神の国の到来という幸せを期待し信じる。　絶望を経験したひとの中に無というものが唯一絶対の幸せと、と考える人がいる。私も少し重なり合う人間関係に疲れしました。　聖書が言います。煩惱を滅した段階で、善き人になれる。そこから虚無に陥らないで、欲望ではなく夢を持つことだ。それは美味しいものや、素敵な異性との遭遇だったりする。いったん善き人になったからには、楽しくなりそうだ。　神が、しもべを、ひとり、ひとりにお遣わしになったのは、まずは個人の主体性を大事にせよということからである。まずは「強固な宗教団体を潰せ」と言っているわけではない。自分の南無妙法蓮華經を見つける。それである。いづこの団体に所属しようが正しい思いやりをもつものが幸せである、来る世に生きる。　来る世、飢餓、病気からの解放のために食物、腹はなくなる。妊娠、病気、悪感情（嫉妬、異性への偏愛など）、苦しみを伴う生殖というものはなくなる。私はこれでいいと思う。しかし博愛主義者が私のような無欲な人ばかりとは限らない。ただ悪感情よ、さらばだ。　林さんありがとうございました。今年もバーベキュー。たくさんのお肉を食べることができ幸せです。暑い中、かかわってくださった皆様にお礼申し上げます。本当にありがとう。　空と言った時点で空でなくなる。空の概念だけが語れる。つまり何もなく、だがそこには優しい気がなければならぬ。　来る世、期待感は尽きない。　しかし私はまた潔癖な価値観を振り回していた。「田崎さん申し訳ありませんが再開未定の絶縁状態に至りたいと思います。買春、美食、他にも相容れないものがあります。息災を祈ります。食事の約束は無しに。」私の心の底はやはり清らかな愛を求めていた。人間は自分が絶対正しいと思っていないと生きていけない。しかし複合的自己批判を忘れると、自分勝手な者が集まり、果ては戦争に結び付く。そこにはコミュニケーションを図る能力も問われるだろう。　人をしぼる規則、法律、慣習。人の心情に冷たいものを流れさせ、温かさを切り裂くもの、これは悪魔の領分である。そして非道な暴力の世界も悪魔の支配下にある。それらが関与しない愛の世界が神仏の楽園、真の平和な姿である。林さんに鍛えられ前途に光明が見え始めました。若者たちも独り立ちはじめ、おこがましくも贈らせていただいていたメールをやめます。それでいい。　事前の連絡なく工賃を下げられ少し憤りました。今は落ち着いています。明日、由美さんにテレします。口頭にて15日に施設を辞めることを話します。突然ですが。まことに申し訳なく思います。由美さんにはメールで伝えてあります。お世話になり本当にありがとうございました。林さんからのメールで少し元気になりました。モチベーションが下がり仕事が持続できないと思った。本当に今までありがとうございました。模索してみます。カレーハウスにはぜひとも、また来店させていただきます。正直な弱者に優しい林孝子さん、忘れません。その強さは愛すべきものでした。ありがとう。　お忙しい時間すいません。由美さんにテレにて正式にお伝えし、辞することになりました。最低賃金が保障されるA型施設を支持し予定していた私としては結果であると思います。お元気で、ありがとう。

第4章

朝早くからの激励、感謝申し上げます。話は飛びますがカブトムシの家に転がり込んだ男は、彼女に「バージンから解放してやった」と言ったそうです。カブトムシは処女を捧げた彼氏として出て行った男を追いかけているみたいです。滅茶苦茶に、なっています。朝から無作法な話でごめんなさい。ひとは恋なくしては生きていけないのだなあ。或るA型施設にカブトムシは通っているので、事情を聴こうと深い意味なくクリスマス以来のテレをしました。男の存在は彼女にとって良かったのか。まあ、私にはやはり縁がない。祖母は自暴自棄になっていたのではあるか、自分を絶対曲げない、下がらない母に「出ていけ」と罵詈雑言を浴びせかけた。父はただ、さみしげに病弱な自分を自覚していた。母は、なぜこうも人の心が理解できないのだろう。あまりにも未熟である。祖母は悪を演じ、母を教育し鍛えていた。偽善を嫌ったからである。幸せへ向かって行く家庭、それは幻想だろうか。我が儘者の集まりではどうにもならない。平和は神仏に手を合わす時にしか現れない。祈る。人間に出来るのはそれだけである。無力感に浸れというのではない。感謝と未来への希望が見えてくるからだ。祖母は哀しかったのだ、本当の情けを知らぬ我が身が。勤行はした方がよい。いい加減に習慣づけると、心がこもらない形式的な、「ただ読めばいいだろう」になってしまう、また一生懸命やればやるほど仏法と強調し、何か頑ななものへと錯覚させるのである。心、愛。人々の幸せを祈り、南無妙法蓮華經と祈ることが大切である。起きがけに聖書でその日の吉凶を占い、ご仏前、朝の勤行、就寝前に一日を振り返り、無事を感謝する。そして南無妙法蓮華經。大音声でなくてもいい、小声でも。それが私の思いやりの源泉になっている。私は弱く、差別され、虐げられる立場にあり本当に良かったと思う。この心持に気づかなければ、この世の、価値観につかり真実の愛は見えて来なかった。我々を踏みつける幾多のものたちよ。君たちは真実を知ることなく死を迎えるだろう。これが一番重大な苦しみ、悲しみ憐れなことなのだ。まあ言っても無駄か。神はそこに気づいたものの傍にいらるだろう。藤山さん 私を殺したいと思われませんか。それはイエスを殺したパリサイ人の妬みと一緒にです。どうか心穏やかに。神イエスである私の声を聴く機会は失せたのかもしれない。

幕末の幕臣に小栗上野介忠順と言う勘定奉行だったひとがいる。勝海舟と双璧であった。彼は十四の時から長火鉢をキセルでぼんぼん叩くと天下国家を大人に混じって「なるほど、なるほど」と聞き入り論じていたという。「覚えたての煙草をふかし星空を見つめながら自由を求め続けた、十五の夜」。昔は酒も、煙草も年齢制限など無かったのである。これが自立への大きな力、後押しとなっていたのではないだろうか、酒、煙草、早くに覚えた奴ほど世間で一角を占めている、というのは言い過ぎか。いささか順法精神に欠けているな。やはり世間は悪い奴ほど出世する。自由な発想があるからだ擁護する私がいる。不謹慎か。秀吉はハンセン病の大谷吉継が不覚にも鼻水を垂らしてしまったお茶をそのままぐっと飲んだという。人たらし。彼はずるいだけの人間だったのか。人を味方につける天才。殺されるかもしれない敵陣での駆け引き。彼は「露と生まれ露と消える。浪花のことは夢のまた夢」どこで死んでも構わないと根性を据えていたのではないだろうか。だから

第4章

こそ生き残り、天下を治めた。彼はいつも相手を思いやり、自らは捨て身の姿があったのではないのか。そんな秀吉像を勝手に思っている。 聖書は、顕正会の浅井さんは、信ずるに値する人物だと示す。雄さん、信頼する人を侮辱したこと謝罪します。私は様々な立場、地点から風景を見、神の言葉を信じます。でも彼は人間です。冷静さを欠いてはいけません。自浄作用のないところ、狂信的になってはいけません。 聖書は真由子さんと結ばれるとき、博愛から外れてもいいと言ってくれる。真実の愛があるならそれが神の務めを果たすことだからだ。つまり真由子さんへの愛こそが本物の清らかな愛であるからだ。聖霊の宮としての私も完結する。 人は性善説、性悪説どちらだろうな。台風の夜思う。単に人それぞれの見方の違いなのか。神だからこそ解からない人間というもの。愛の居所が。 (おいしいパンと暮らそう。 ヤマザキ) 金儲けがうまくて死ぬ奴はいない。愛のため、死ぬ奴は結構いる。愛は金に勝つ。しかし金のために生きる奴が大半だ。愛のために生きる人が少ないのは残念である。 理想主義者にとって生活とは低俗なものに思えるかもしれない。現実に欲望を充たすお金を愛と錯覚するものがある。一番良い解決策は人と人とが布施し合い、少し損をし、爽やかでいることです。なるべくなら深刻にならずに不快な自分を見せないことです。 私の受け身の博愛は完遂するか。なぜか。女性は自分の意向よりも男の欲求の強さに反応し、相手の唯一であることを期待するからである。

私の真意は博愛を抱きながらも真由子さんさえあれば何もいらなかった。
ほしいものは真由子さんだけ、それだけである。

私には怒りも焦りもありません。あるのは憐れみだけです。ただ我が善意と良心が正当に評価されているでしょうか。仏と神は自覚だけです。
積極的に善を成す。この世での幸せを仏さまの価値観で彩る。自由、慈悲、平和、常楽我淨、いつも楽しく美しい。私が至った境地です。信じて下さい。 合掌

君はもう主に会っている。誰でしょうか。君の前にいる。主よ、従います。聖書のイエスと男の問答です。果たして私が主であると信じられますかな。

神を愛し、隣人を愛す

母が私の腕にすがって、お墓まで歩いた。私の中で何かに変化していった。

第4章

モーゼの子孫からひとりの預言者が出る。聞き従いなさい。「暇だ、遊びに来い。今日だぞ」。

(笑) もはや、私が神であることを疑う余地はないだろう。すべて神の摂理。「まあ楽しくやらんまいけ」。私が父のもとからあなた方に使わそうとしている、助け主、すなわち真理の御霊が下るとき、それは私、イエスについて証をするだろう。「それが義人である」。あなた方はあまりにも父である私を軽んじている。神を敵に回そうとしている。清らかな心をもつものには解かるだろう。アブラハムとイサクの譬えのように神(愛)に従順なのが最善であり、またそれは困難なことなのだ。私には憐みしかない。あなた方が善良であってほしい。神は罪人の言うことを聞き入れられないが、神を敬いその御心を行う人の言葉は聞き入れてくれる。「不敬だなあ。ちゃんと連絡してこい。応答するのが良識だろう。無理なら無理と。先約があるとか。犠牲だと思っからしんどいのだ」。私は聖書の靈感に基づきメッセージを送っている。私に神とイエスの教えを真剣に請いなさい。永遠の命の為に。あなた方が来訪すると聖書が言います。信じて待ちます。私はあなた方に罰を与えたいわけではなく親しく融和を図りたいのです。失望させないでください。すべてを誤魔化してはいけません。残念ですけどクローズです。晚餐に来たのは足萎えたちでした。本当の意味での、世の価値観を思いやりで放棄しなければ。また機会があるまで各位、考察せよ。エホバの証人は来なかった。私が傲慢で横柄で、常識をわきまえていないと思ったのであろう。ここだが、私は神である。もはや他の者が云々という時期は通り過ぎたのである。そこを彼らは沈黙で返した。私の腹からは永遠の命という水が吹きあがる。だが彼らは砂地を掘り続けても水脈が近い泥土に達することは夢のまた夢であろう。「遥かなる泥土。」すべては愛にかかっている。神について勝手な見解を学修するより、まず愛である神に従順になることが大切である。

今回、御世話になった、ナガイさんはじめスタッフの皆さん本当にありがとうございます。ご自愛くださり、今後とも活躍くださること衷心より祈っております。

雄さん、私は誰の上にも下にもなりたくない。目的が狂信的にならず、冷静さを失わず、遊戯する安楽な人達でいっぱいになれば、いい世の中が来る。おためごかしでも、押し付けでも、かたりでもなく、南無妙法蓮華経は仏陀の覚りをちゃんと自覚し、末法の仏種の生命力に働きかける。これを伝えてくれ。日蓮からの願いです。南無妙法蓮華経

真由子さん死ぬほど愛しています。いついかなるときも。
あなたに会うとき、喜びと悲しみ二つの想いに揺れ動いていた。
でも、いま大きな幸せだけです。
欲望は今だけかもしれないが静かに横たわっています。

義人